

就実大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、日本国憲法及び教育基本法の本質にのっとり、学校教育法の定める大学として、学術を教授研究し、併せて建学の精神に基づき、文化の進展と社会の福祉に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図るとともに、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検、評価、改善を行う。

- 2 前項の点検、評価、改善を行うため、本学に自己点検・評価・改善委員会を置く。
- 3 自己点検・評価・改善委員会に関する規程は別に定める。

第2章 学部、学生定員及び修業年限

(学部・学科及び収容定員)

第3条 本学に設置する学部、学科及びその収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
人文科学部	表現文化学科	80名	320名
	実践英語学科	75名	300名
	総合歴史学科	80名	320名
教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名
	教育心理学科	62名	248名
経営学部	経営学科	160名	640名
薬学部	薬学科	100名	600名

(学部・学科の人材の育成及びその他教育研究上の目的)

第3条の2 本学において、各学部・学科における人材の育成に関する目的及びその他教育研究上の目的は次のとおりとする。

学 部	学 科	目 的
人文科学部		人文科学部は、表現文化学科、実践英語学科、総合歴史学科の3学科で構成され、言語・文化・歴史などを学ぶことで、人間の本質を問い、身につけた教養をもとに主体的に行動し、社会及び文化の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。
	表現文化学科	表現文化学科は、日本文学、日本語、表現創造（言語・身体）の3コースで構成される。日本の言語と文化について幅広い学識と理解を身につけ、人間が生活する時空の豊かさを実感できる知識と経験を積み、その学識と経験を活かして現代社会を能動的に生き、社会及び文化の諸問題を解決できる人材を育成することを目的とする。

	実践英語学科	実践英語学科は、英語コミュニケーション、英米文化、通訳・翻訳の3コースで構成される。英語教育を含む英語関連領域の専門的・学際的研究を通して、実践的な英語運用能力だけではなく、英語圏の人々、その人々を取り巻く社会・文化・思想・価値観についての教養を深化させ、それらを主体的に駆使・応用することで、グローバル化の進む諸領域の創生・発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。
	総合歴史学科	総合歴史学科は、日本史、アジア史、ヨーロッパ・アメリカ史、歴史遺産の4コースで構成される。歴史を学び、修得した知識を基に、現代の諸状況を把握して問題の解決を図り、文化的背景の異なる人々の立場を理解して豊かな人間関係を築き、社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。
教育学部		現代における教育の諸問題の解決と健全な社会の発展に寄与できる専門性と実践力を備えた保育者・教育者・心理師（士）・職業人を育成する。そのため、人の多様性を踏まえた教育実践、人の心と行動、心身の健康に関する専門的知識・技能を教授するとともに誠実で豊かな人間性を育てる。
	初等教育学科	子供一人一人の多様な個性を尊重し、人格形成期にある子供の自立・協働・創造の力を育成するために必要な保育・教育の専門的知識やスキル及び豊かな人間性を備えた、共生社会に貢献できる人材を育成する。
	教育心理学科	人の心と行動、心身の健康状態を多角的な視点から理解し、支えケアすること及び、個人や集団の強みを活かすことに専門性と実践力を発揮できる心理師（士）・教育者・職業人を育成する。そのため、心理学・養護に関する専門知識・技能を教授するとともに、共創する力を育てる。
経営学部	経営学科	グローバルに物事を考えながら、地域の社会や経済の発展に貢献できるグローバル人材を育成することを目的とする。
薬学部	薬学科	生命の尊厳を基盤とした強い使命感と高い倫理観のもとに、人々の健康を守る最良の医療薬学教育・研究を行い、医療・福祉に貢献できる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた薬剤師を育成する。

(修業年限及び在学年限)

第4条 本学の修業年限は、人文科学部、教育学部及び経営学部においては4年、薬学部においては6年とする。

2 学生は人文科学部、教育学部及び経営学部においては8年、薬学部においては12年を超えて在学することができない。ただし、編入学、再入学した学生は、その学生が在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

(長期履修制度)

第4条の2 前条の規定にかかわらず、本学人文科学部、教育学部及び経営学部において、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する者があるときは、教授会において相当の資格があると認められた者につき、本学の教育に支障がない場合に限り、学長が許可することができる。

2 長期履修学生に関する規程は別に定める。

第3章 大学院

(大学院)

第5条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する学則は別に定める。

第4章 附属幼稚園

(附属幼稚園)

第5条の2 本学に附属幼稚園を置く。

2 教育研究に併設する事業として、本学に保育所を置く。

3 附属幼稚園及び保育所に関し必要な事項は別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第7条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律に規定する休日

三 学園創立記念日 5月18日

四 夏期休業日 8月1日から9月30日まで

五 冬期休業日 12月25日から翌年1月7日まで

六 学年末休業日 3月21日から3月31日まで

2 必要がある場合においては、学長は、前項の規定にかかわらず、臨時に休業日を設け又は休業日を変更することができる。

(1年間の授業期間)

第9条 1年間の授業を行う期間は、試験等の日数を含め、35週にわたることを原則とする。

第6章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第10条 本学において開設する総合教養教育科目、外国語教育科目及び専門教育科目に関する授業科目とその単位数は別表(1)から(11)のとおりとする。

(授業の方法)

第10条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。
前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 5 第2項に関し必要な事項は、別に定める。

(教職等に関する授業科目)

第11条 前条に定めるもののほか、教育職員免許状を取得する者のため、教職に関する科目及び特別支援学校教諭に関する科目を置く。教職に関する授業科目とその単位数は別表(12)のとおりとし、特別支援学校教諭に関する科目とその単位数は別表(13)のとおりとする。

- 2 学芸員の資格を取得する者のため、博物館に関する科目を置く。博物館に関する授業科目とその単位数は別表(14)のとおりとする。
- 3 司書の資格を取得する者のため、図書館に関する科目を置く。図書館に関する授業科目とその単位数は別表(15)のとおりとする。
- 4 司書教諭の資格を取得する者のため、司書教諭に関する科目を置く。司書教諭に関する授業科目とその単位数は別表(16)のとおりとする。
- 5 社会教育主事の資格を取得する者のため、社会教育に関する科目を置く。社会教育に関する授業科目とその単位数は別表(17)のとおりとする。
- 6 医療秘書士の申請資格を取得する者のため、医療秘書に関する科目を置く。医療秘書に関する授業科目とその単位数は別表(18)のとおりとする。
- 7 公認心理師の受験資格を取得しようとする者のため、大学において公認心理師となるために必要な科目を置く。大学において公認心理師となるために必要な授業科目とその単位数は別表(7)のとおりとする。

(副専攻)

第11条の2 所属学科の学びに加えて他分野に関する理解を深めようとする者のため、副専攻に関する科目を置く。

- 2 副専攻に関し必要な事項は別に定める。

(単位の計算方法)

第12条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- 一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- 二 演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- 三 実験、実習及び実技等については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
- 四 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前三号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究及び卒業論文実習の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(授業期間)

第13条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、この期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(単位の授与)

第14条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 前項の試験に関し、必要な事項は別に定める。

(成績)

第15条 試験の成績は、100点をもって最高とし、60点以上を合格とする。

(成績の評語)

第16条 成績の評語は、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可とし、60点未満を不可とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第17条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項の実施に関し必要な事項は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第17条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う他の短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、前条により本学において修得したものとして認定する単位数と合わせて60単位を超えない範囲で、単位を認定することができる。

2 前項の実施に関し必要な事項は別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第18条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学入学以前に大学又は短期大学において修得した単位、及び短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修については、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

2 前項により修得したものとみなし、また与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第17条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学で修得した単位の場合にも準用する。

4 前3項の実施に関し必要な事項は別に定める。

(卒業の要件)

第19条 本学を卒業するためには、人文科学部、教育学部及び経営学部は4年以上、薬学部は6年以上在学し、次に定める単位を含め、人文科学部、教育学部及び経営学部は124単位以上、薬学部は186単位以上を修得しなければならない。

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
人文科学部	表現文化学科	20	6	68
	実践英語学科	20	12	84
	総合歴史学科	20	8	68

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
教育学部	初等教育学科	20	6	62
	教育心理学科	20	6	62

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
経営学部	経営学科	20	8	82

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
薬学部	薬学科	15	5	166

(教育職員免許状等)

第20条 教育職員免許状を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに教育職員免許法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科
人文科学部	表現文化学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語 国語
	実践英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	外国語（英語） 外国語（英語）
	総合歴史学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地理歴史 公民
教育学部	初等教育学科	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状	
	教育心理学科	養護教諭一種免許状	

- 3 学芸員の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに博物館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 4 司書の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに図書館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 5 司書教諭の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 6 社会教育主事に関する資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに社会教育法及び社会教育主事講習等規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 7 教育学部初等教育学科において保育士の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに児童福祉法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 8 教育学部において認定心理士の申請資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに社団法人日本心理学会認定心理士認定資格細則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 9 人文科学部、教育学部及び経営学部において医療秘書士の申請資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに公益社団法人日本医師会が定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 10 教育学部教育心理学科において公認心理師の受験資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに公認心理師施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 11 教育学部教育心理学科において准学校心理士の申請資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに一般社団法人学校心理士認定運営機構の定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第7章 卒業及び学位

（卒業）

第21条 本学において人文科学部、教育学部及び経営学部は4年以上、薬学部は6年以上在学し、第19条に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

（学位）

第22条 人文科学部を卒業した者に学士（人文科学）、教育学部を卒業した者には学士（教育学）、経営学部を卒業した者には学士（経営学）、薬学部を卒業した者には学士（薬学）の学位を授与する。

2 学位に関する規程は別に定める。

第8章 入学，退学，転学及び休学等

(入学の時期)

第23条 入学の時期は，学年の始めとする。ただし，再入学及び転入学については，学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第24条 本学に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 三 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣の指定した者
- 五 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- 六 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 七 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 八 個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，18歳に達した者

(入学志願の手続)

第25条 本学への入学を志願する者は，本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。

- 2 入学検定料の金額は別に定める。
- 3 本学において特に必要があると認められた者は，入学検定料を減免することができる。
- 4 入学検定料の減免に関する規程は別に定める。
- 5 提出の時期，方法，同時に提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第26条 前条の入学志願者については，別に定めるところにより，選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第27条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は，所定の期日までに，入学金その他の学納金及び本学の指定する書類を提出しなければならない。

- 2 学長は，前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(再入学)

第28条 願いにより本学を退学した者又は第38条第一号により除籍された者が再入学を希望するときは，選考のうえ，教授会の意見を聴き，学長が入学を許可することができる。

- 2 前項の場合，退学又は除籍前に修得した授業科目及び単位数の全部又は一部を既に修得したのものとして認めることがある。この認定は教授会の意見を聴き，学長が行う。
- 3 再入学の場合に必要な手続は別に定める。

(編入学及び転入学)

第29条 次の各号の一に該当する者で，本学に編入学を志願する者がいるときは，編入学定員を定める学科等のほかは，欠員のある場合に限り，選考のうえ，教授会の意見を聴き，学長が相当年に入学を許可することができる。

- 一 大学を卒業した者又は退学した者
- 二 短期大学，高等専門学校，国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者，及び専修学校の専門課程のうち，文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし，学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- 三 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校，専門学校又は教員養成諸

学校等の課程を修了した者又は卒業した者

- 2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴き、学長が決定する。
- 3 編入学、転入学の場合に必要な手続は別に定める。

(保証人)

第30条 入学を許可された者は、保証人を定め本学の指定する期間内に届出なければならない。

(保証人の責任)

第31条 保証人は学生の在籍中の次に定める事項について責任を持つものとする。

- 一 授業料及び教育充実費（以下「学費」という。）の未納分
 - 二 在籍料の未納分
 - 三 学内施設・備品などに損害を与えた場合の修復費用
 - 四 学生の故意又は過失行為によって第三者に損害を与え、その賠償責任を大学が負うことになった場合の損害賠償額
- 2 前項の保証極度額は、第40条第2項に規定する学費合計とする。
 - 3 保証人は父母若しくは成年の親族又はそれに代わる者とし、いずれも独立の生計を営む者とする。

(保証人の変更及び転居)

第32条 保証人を変更したとき又は保証人が転居したときは直ちに届出なければならない。

(退学)

第33条 退学をしようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(転学)

第34条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(転学部・転学科)

第34条の2 本学の他の学部に転学部または同一学部の他の学科に転学科を希望する者があるときは、選考のうえ許可することがある。

- 2 転学部、転学科の場合に必要な手続は別に定める。

(休学)

第35条 疾病その他やむを得ない事由により3か月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病のため修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第36条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合は、引き続き延長することができる。

- 2 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学の期間は、第4条第2項の在学年限に算入しない。

(復学)

第37条 休学期間満了の場合又は休学の期間中にその事由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(除籍)

第38条 次の各号の一に該当する者は、教授会の意見を聴き、大学教育研究評議会で審議し、学長が除籍する。

- 一 学費その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 二 第4条第2項に定める在学年限を超えた者
- 三 第36条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- 四 死亡または長期間にわたり行方不明の者

五 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

2 前項第五号に関し必要な事項は、学部ごとに定める。

(復籍)

第38条の2 前条第一号により除籍になった者が除籍通知後1年以内に未納の学費その他の納付金を納付し、復籍の願い出があった場合には、大学教育研究評議会で審議し、学長が復籍を許可することがある。

2 前項の場合、除籍前に修得した授業科目及び単位数の全部又は一部を既に修得したものとして認めることがある。この認定は教授会の意見を聴き、学長が行う。

第9章 授業料，入学金その他の費用

(入学金の納付)

第39条 本学に入学する者は、入学金を納付しなければならない。

2 入学金の額は、270,000円とする。

3 納付した入学金は、返付しない。

(学費の納付)

第40条 学費は、前学期・後学期の2期に分けて納付しなければならない。ただし、長期履修学生の学費については別に定める。

2 学費の年額は下表のとおりとする。

令和2年度以降入学生

(単位：円)

項目 学部	授業料	教育充実費	学費 合計
人文科学部	920,000	—	920,000
教育学部 経営学部	950,000	—	950,000
薬学部	1,530,000	450,000	1,980,000

令和元年度以前入学生

(単位：円)

項目 学部	授業料	教育充実費	学費 合計
人文科学部 教育学部 経営学部	915,000	—	915,000
薬学部	1,500,000	455,000	1,955,000

3 本学において特別の事情があると認められた者は、前項の規定にかかわらず、月割分納又は延納を認めることがある。

(授業料，入学金その他の費用の減免)

第40条の2 本学において特に必要があると認めた者は、授業料，入学金その他の費用を減免することができる。

2 授業料，入学金その他の費用の減免に関する規程は別に定める。

(退学・転学及び停学の場合の学費)

第41条 退学又は転学した者、退学を命ぜられた者及び停学中の者は当該学期の学費全額を納付しなければならない。

(休学の場合の学費免除)

第42条 休学した者については次の算式により算出した学費を免除する。

$$\text{免除額} = \text{授業料年額} \times \frac{\text{休学日の当月から復学日の前月までの月数}}{12} + \text{教育充実費} \times \frac{\text{休学日の当月から復学日の前月までの月数}}{12}$$

2 端数が生じた場合には、10の位以下の数字は切り上げ、100円単位とする。この端数処理は、授業料又は教育充実費それぞれの減免額算定の最後に一度だけ行うものとし、計算途中において複数回にわたり行うことはしない。

(在籍料)

第42条の2 休学した者については、休学期間中、次の算式により算出した在籍料を納付しなければならない。

在籍料の算式

在籍料 × 休学日の当月から復学日の前月までの月数

2 在籍料は、1か月 20,000円とする。

(その他の費用の納付)

第43条 入学金、学費のほか、実験実習料を徴収することがある。

2 前項に規定する納付金の金額、納付に必要な手続等については別に定める。

(納付した授業料等)

第44条 削除

第10章 職員組織

(職員組織)

第45条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技能職員その他必要な職員を置く。

(職員の職務)

第46条 職員の職務は学校教育法及び就実学園就業規則の定めるところによる。

第11章 大学教育研究評議会、教授会

(大学教育研究評議会)

第47条 本学に、教育研究に関する重要な事項を審議するため大学教育研究評議会（以下「評議会」という。）を置く。

(評議会の構成)

第47条の2 評議会は、学長、副学長、研究科長、学部長及び事務部長をもって構成する。

2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めたときは、評議会を構成する者以外の者の出席を求めることができる。

(評議会の役割・権限)

第47条の3 評議会は学長の諮問機関とし、教育研究に関する重要な事項で学長が必要と認めたものを審議する。

2 評議会に関する規程は、学長が別に定める。

(各種委員会の設置)

第47条の4 評議会のもとに、各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する規程は別に定める。

(教授会)

第48条 本学に教授会を置く。

(教授会の構成)

第49条 教授会は学部長及び教授をもって構成する。ただし、教授会が必要と認めたときは、准教授、講師及び助教を加えることができる。

2 前項の規定にかかわらず、学部長が必要と認めたときは、教授会にその他の職員の出席を求めることができる。

(教授会の役割・権限)

第50条 教授会は、学長の諮問機関とし、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を

述べるものとする。

- 一 学生の入学，卒業
 - 二 学位の授与
 - 三 前二号に掲げるもののほか，教育研究に関する重要な事項で，教授会の意見を聴くことが必要なものとして，学長が定めるもの
- 2 教授会は，前項に規定するもののほか，学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し，及び学長の求めに応じ，意見を述べることができる。
- 3 教授会に関する規程は，学長が別に定める。

第12章 科目等履修生，委託生，単位互換履修生， 研究生，聴講生，外国人留学生及び帰国子女

(科目等履修生)

第51条 本学において開設する授業科目の一部を履修しようとする者があるときは，教授会において相当の資格があると認められた者につき，当該授業科目の授業に支障がない場合に限り，学長が許可することができる。

- 2 科目等履修生に関し必要な手続きについては別に定める。

(委託生)

第52条 他の大学又は公共機関から委託生として推薦された者が，学修を願い出るときは，教授会において相当の資格があると認められた者につき，本学の教育に支障のない場合に限り，学長が許可することができる。

- 2 委託生には学則を準用する。ただし，学則第21条は適用しない。
- 3 委託生の授業料その他の納付金については，科目等履修生に準ずる。

(単位互換履修生)

第53条 協定を結んでいる他の大学，短期大学又は高等専門学校に在学している学生が，本学の開講科目を履修しようとするときは，教授会において相当の資格があると認められた者につき，当該科目の授業に支障がない場合に限り，学長が許可することができる。

- 2 単位互換履修生に関し必要な手続きについては別に定める。

(研究生)

第54条 本学において特定の事項について研究しようとする者があるときは，教授会において相当の資格があると認められた者につき，本学の教育に支障がない場合に限り，学長が許可することができる。

- 2 研究生に関し必要な手続きについては別に定める。

(聴講生)

第55条 本学において開設する授業科目の一部を聴講しようとする者があるときは，教授会において相当の資格があると認められた者につき，当該授業科目の授業に支障がない場合に限り，学長が許可することができる。

- 2 聴講生に関し必要な手続きについては別に定める。

(外国人留学生)

第56条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し，本学に入学を志願する者があるときは，選考のうえ，教授会の意見を聴き，外国人留学生として学長が許可することができる。

- 2 外国人留学生に関する規程は別に定める。

(帰国子女)

第57条 外国人留学生以外の学生で，外国において相当の期間中等教育（中学校又は高等学校に対応する学校における教育をいう。）を受けた者が本学に入学を志願するときは，選考のうえ，教授会の意見を聴き，帰国子女として学長が許可することができる。

- 2 帰国子女に関する規程は別に定める。

第13章 賞罰

(表彰)

第58条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の意見を聴き、学長が表彰することができる。

2 表彰に関する規程は別に定める。

(懲戒)

第59条 本学の学則に違反し又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の意見を聴き、評議会で審議し、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

一 性行不良で改善の見込みがない者

二 正当な理由がなく出席が常でない者

三 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 懲戒に関する規程は別に定める。

第14章 公開講座

(公開講座)

第60条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第15章 附属施設

(図書館)

第61条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関し必要な事項は別に定める。

(研究所)

第62条 本学に吉備地方文化研究所を置く。

2 吉備地方文化研究所に関し必要な事項は別に定める。

(臨床薬学教育研究センター)

第63条 本学に臨床薬学教育研究センターを置く。

2 臨床薬学教育研究センターに関し必要な事項は別に定める。

(就実教育実践研究センター)

第64条 本学に就実教育実践研究センターを置く。

2 就実教育実践研究センターに関し必要な事項は別に定める。

(就実心理臨床センター)

第65条 本学に就実心理臨床センターを置く。

2 就実心理臨床センターに関し必要な事項は別に定める。

(産学官地域連携センター)

第65条の2 本学に産学官地域連携センターを置く。

2 産学官地域連携センターに関し必要な事項は別に定める。

(教育開発センター)

第65条の3 本学に教育開発センターを置く。

2 教育開発センターに関し必要な事項は別に定める。

(就実大学薬学部附属薬局)

第66条 本学に就実大学薬学部附属薬局を置く。

2 就実大学薬学部附属薬局に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

1 この改正学則は、昭和60年4月1日から施行する。

2 昭和60年度から昭和62年度において文学部史学科の総定員は、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

昭和60年度 100人

昭和61年度 200人

昭和62年度 300人

附 則

この改正学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

1 この改正学則は、平成元年4月1日から施行する。

2 平成元年度から平成3年度において文学部日本文学科及び英米文学科の総定員は、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成元年度	日本文学科	250名
	英米文学科	250名

平成2年度	日本文学科	300名
	英米文学科	300名

平成3年度	日本文学科	350名
	英米文学科	350名

附 則

この改正学則は、平成元年6月1日から施行し、平成2年度本学に入学する者から適用する。

附 則

この改正学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

1 この改正学則は、平成3年4月1日から施行する。

2 平成3年度から平成11年度において入学定員は、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

日本文学科 130名

英米文学科 130名

史 学 科 130名

3 第17条及び別表(1)は、昭和63年度入学生から適用する。

4 第18条の規定は、平成2年度入学生から適用する。

- 5 平成2年度以前の入学生にかかる授業料の額は、第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 第41条の規定による校費及びその他の費用の納付は、平成2年度以前の入学生についても適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成3年10月1日から施行する。
- 附 則
この改正学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 附 則
この改正学則は、平成5年4月1日から施行し、平成5年度入学生から適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成6年4月1日から施行し、平成6年度入学生から適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成7年4月1日から施行し、平成7年度入学生から適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成8年4月1日から施行し、平成8年度入学生から適用する。ただし、第6条並びに第7条の規定は、平成7年度以前の入学生についても適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成9年4月1日から施行し、平成9年度入学生から適用する。ただし、第6条、第7条及び第8条の規定、第9条の別表(4)の「博物館概論」「博物館学各論」、第10条の別表(6)及び別表(8)の授業科目については、平成8年度以前の入学生についても適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成10年4月1日から施行し、平成10年度入学生から適用する。ただし、第10条の別表(7)の授業科目は、平成9年度以前の入学生についても適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成11年4月1日から施行し、平成11年度入学生から適用する。ただし、第11条の別表(8)の授業科目は、平成10年度以前の入学生についても適用する。
- 附 則
1 この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 平成12年度から平成14年度において収容定員は、第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。
- | | | |
|--------|-------|------|
| 平成12年度 | 日本文学科 | 505名 |
| | 英米文学科 | 505名 |
| | 史学科 | 505名 |
| 平成13年度 | 日本文学科 | 490名 |
| | 英米文学科 | 490名 |
| | 史学科 | 490名 |
| 平成14年度 | 日本文学科 | 475名 |
| | 英米文学科 | 475名 |
| | 史学科 | 475名 |
- 附 則
この改正学則は、平成13年4月1日から施行し、平成13年度入学生から適用する。ただし、第34条の2の規定は、平成12年度以前の入学生についても適用する。
- 附 則
この改正学則は、平成14年4月1日から施行し、平成14年度入学生から適用する。
- 附 則
1 この改正学則は、平成15年4月1日から施行し、平成15年度入学生から適用する。
- 2 本学文学部日本文学科、英米文学科及び史学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず平成

15年3月31日に当該学部等に在学する者が当該学部等に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

- 3 平成15年度から平成17年度において収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成15年度	表現文化学科（日本文学科）	420名	生物薬学科	75名
	実践英語学科（英米文学科）	420名	医療薬学科	75名
	総合歴史学科（史学科）	420名		
平成16年度	表現文化学科（日本文学科）	380名	生物薬学科	150名
	実践英語学科（英米文学科）	380名	医療薬学科	150名
	総合歴史学科（史学科）	380名		
平成17年度	表現文化学科（日本文学科）	340名	生物薬学科	225名
	実践英語学科（英米文学科）	340名	医療薬学科	225名
	総合歴史学科（史学科）	340名		

附 則

この改正学則は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学生から適用する。ただし、第4条の2及び第40条第1項ただし書きの規定は、平成16年度以前の入学生についても適用する。

附 則

- この改正学則は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学生から適用する。
- 本学薬学部生物薬学科、医療薬学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 平成18年度から平成23年度において薬学部の収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成18年度	薬学部薬学科	150名	生物薬学科	225名
			医療薬学科	225名
平成19年度	薬学部薬学科	300名	生物薬学科	150名
			医療薬学科	150名
平成20年度	薬学部薬学科	450名	生物薬学科	75名
			医療薬学科	75名
平成21年度	薬学部薬学科	600名		
平成22年度	薬学部薬学科	750名		
平成23年度	薬学部薬学科	900名		

附 則

- この改正学則は、平成19年4月1日から施行し、平成19年度入学生から適用する。ただし、第34条の2の規定は平成18年度以前の入学生についても適用する。
- 平成19年度から平成22年度において、人文科学部初等教育学科の収容定員は改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成19年度	初等教育学科	75名
平成20年度	初等教育学科	150名
平成21年度	初等教育学科	230名
平成22年度	初等教育学科	310名

附 則

この改正学則は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学生から適用する。ただし、第38条

の2の規定は、平成21年度以前の入学生についても適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学生から適用する。
- 2 第4条第2項、第10条の2、第36条、第37条については、平成21年度以前の入学生についても適用する。
- 3 第10条の別表(10)の「化粧品科学」「病態と薬物治療」「チーム医療」「医薬品等評価学」「漢方薬学」「薬学海外研修」については、平成21年度以前の入学生についても適用する。
また、「食薬相互作用学」の削除についても、平成21年度以前の入学生について適用する。
- 4 第10条の別表(11)の「教科教育研究(国語)Ⅳ」「教科教育研究(英語)Ⅳ」「教科教育研究(社会・地理歴史)Ⅳ」については、平成20年度、平成21年度の入学生についても適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学生から適用する。
- 2 本学人文科学部初等教育学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、平成25年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 平成23年度から平成28年度において人文科学部初等教育学科、教育学部、薬学部の収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成23年度	人文科学部初等教育学科	235名
	教育学部初等教育学科	75名
	教育心理学科	60名
平成24年度	薬学部 薬学科	870名
	人文科学部初等教育学科	160名
	教育学部初等教育学科	150名
平成25年度	教育心理学科	120名
	薬学部 薬学科	840名
	人文科学部初等教育学科	80名
平成26年度	教育学部初等教育学科	230名
	教育心理学科	185名
	薬学部 薬学科	810名
平成27年度	教育学部初等教育学科	310名
	教育心理学科	250名
	薬学部 薬学科	780名
平成28年度	薬学部 薬学科	750名
平成28年度	薬学部 薬学科	720名

附 則

- 1 この改正学則は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学生から適用する。
- 2 第10条の別表(5)の「漢字検定1」「漢字検定2」の単位変更、別表(7)の「障害児心理学各論」「特別支援教育各論」の科目名・単位変更、第11条の別表(11)の「特別支援教育各論」「障害児心理学各論」の科目追加、別表(12)の「古文書学の基礎」「考古学の基礎」の科目名称変更については、平成23年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成26年4月1日から施行し、平成26年度入学生から適用する。
 - 2 平成26年度から平成29年度において、経営学部経営学科の収容定員は改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。
- | | | |
|--------|----------|------|
| 平成26年度 | 経営学部経営学科 | 80名 |
| 平成27年度 | 経営学部経営学科 | 160名 |

平成28年度 経営学部経営学科 240名

平成29年度 経営学部経営学科 320名

附 則

この改正学則は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成31年4月1日から施行し、平成31年度入学生から適用する。

附 則

経営学部経営学科専門教育科目「観光人類学」は、平成30年度生のみ適用する。

附 則

- この改正学則は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度入学生から適用する。ただし、第20条第6項の規定のうち「生涯学習支援論Ⅰ」「生涯学習支援論Ⅱ」「社会教育経営論Ⅰ」「社会教育経営論Ⅱ」については施行日以前の在生学生についても適用する。
- 令和2年度から令和6年度において、入学定員及び収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
学部	学科	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学部	表現文化学科	80名	305名	80名	310名	80名	315名
	実践英語学科	75名	300名	75名	300名	75名	300名
	総合歴史学科	80名	305名	80名	310名	80名	315名
教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名	75名 3年次編入5名	310名	75名 3年次編入5名	310名
	教育心理学科	62名	247名	62名	244名	62名	246名
薬学部	薬学科	100名	700名	100名	680名	100名	660名
経営学部	経営学科	100名	340名	100名	360名	100名	380名

		令和5年度		令和6年度	
学部	学科	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学部	表現文化学科	80名	320名	80名	320名
	実践英語学科	75名	300名	75名	300名
	総合歴史学科	80名	320名	80名	320名
教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名	75名 3年次編入5名	310名
	教育心理学科	62名	248名	62名	248名
薬学部	薬学科	100名	640名	100名	620名
経営学部	経営学科	100名	400名	100名	400名

附 則

この改正学則は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学生から適用する。ただし、別表(5)の「情報処理Ⅲ」の削除は、令和3年度入学生についても適用する。

附 則

- この改正学則は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学生から適用する。

2 令和5年度から令和8年度において、入学定員及び収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学部	学科	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	160名	460名	160名	520名	160名	580名

		令和8年度	
学部	学科	入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	160名	640名

附 則

この改正学則は、令和6年4月1日から施行し、令和6年度入学生から適用する。

学則科目の色分けの凡例

【中一種免(社会)】

-  ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目:水色
-  ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、社会に関する科目:青色
-  ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等:緑色

【高一種免(公民)】

-  ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目:オレンジ
-  ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、公民に関する科目:黄色
-  ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等:緑色

【中一種免(社会)、高一種免(公民)の課程で共通開設】

-  ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目:赤色

＜別 表＞

別表（1） 総合教養教育科目・外国語教育科目（人文科学部表現文化学科・実践英語学科・総合歴史学科共通）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	重複履修可（「社会学概論A」「社会学概論B」の名称で開講）
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学 1		2	講義	1	
	心理学 2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論 1		2	講義	1	
	日本文化論 2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題		2	講義	1	
	法学		2	講義	1	
	日本国憲法		2	講義	1	
	社会学の世界と歴史		2	講義	1	
	社会学概論		2	講義	1	
	基礎経営論		2	講義	1	
	基礎経済学		2	講義	1	
	経済学概論		2	講義	1	
	労働と社会		2	講義	1	
	政治学概論		2	講義	1	
	現代教育の諸問題		2	講義	1	
	健康と衛生		2	講義	1	
	健康と栄養		2	講義	1	
	環境と地球		2	講義	1	
	環境と生命		2	講義	1	
	化学の世界と歴史		2	講義	1	
	現代生活と化学		2	講義	1	
	からだの構造と機能		2	講義	1	
	からだの化学と生物学		2	講義	1	
生命機能のプログラム		2	講義	1		
地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1		
日本伝統の折紙の科学		2	講義	1		
身体運動と健康の科学		2	講義	1		
健康・スポーツと社会		2	講義	1		
スポーツ 1		1	演習	1		
スポーツ 2		1	演習	1		

スポーツ3		1	演習	1	
スポーツ4		1	演習	1	
こころの健康科学		2	講義	1	
現代人とこころの障害		2	講義	1	
情報と表現		2	講義	1	
情報と文化		2	講義	1	
情報と社会		2	講義	1	
情報処理演習1		2	講義	1	
情報処理演習2		2	講義	1	
情報処理基礎演習		2	講義	1	
プログラミング基礎		2	講義	1	
プログラミング演習		2	講義	1	
データ処理演習		2	講義	1	
A I 基礎		2	講義	1	
データエンジニアリング基礎		2	講義	1	
データサイエンス		2	講義	1	
アジアの世界と文化		2	講義	1	
欧米の世界と文化		2	講義	1	
コラボレーション学修1		2	講義	1	
仕事に役立つ数学		2	講義	1	
茶道1		1	演習	1	
茶道2		1	演習	1	
書道1		1	演習	1	
書道2		1	演習	1	
インターンシップ・キャリア実習1		1	実習	2	
インターンシップ・キャリア実習2		1	実習	2	
漢字検定1		1	演習	1	
漢字検定2		1	演習	1	
異文化コミュニケーション1		2	講義	1	
異文化コミュニケーション2		2	講義	1	
異文化コミュニケーション3		2	講義	1	
異文化コミュニケーション4		2	講義	1	
日本事情1		2	講義	1	外国人留学生・帰国子女適用
日本事情2		2	講義	1	
日本事情3		2	講義	1	
日本事情4		2	講義	1	
学校制度論		2	講義	3	
教育学概論		2	講義	1	
教育心理学(教育・学校心理学)		2	講義	2	
教職論		2	講義	1	
図書館概論		2	講義	1	
生涯学習概論 I		2	講義	1	
博物館概論		2	講義	1	
計	2	164			
外国語教育科目	English Reading I	1	演習	1	実践英語学科
	English Reading II	1	演習	1	
	English Reading III	1	演習	2	
	English Reading IV	1	演習	2	
	Oral Communication I	1	演習	1	
	Oral Communication II	1	演習	1	
	Oral Communication III	1	演習	2	
	Oral Communication IV	1	演習	2	

General English 1	1		演習	1	表現文化学科 総合歴史学科
General English 2	1		演習	1	
General English 3	1		演習	2	
General English 4	1		演習	2	
検定外国語 1		2	演習	1	外国人留学生・帰国子女適用
検定外国語 2		2	演習	1	
検定外国語 3		2	演習	1	
検定外国語 4		2	演習	1	
ドイツ語初級 1		1	演習	1	
ドイツ語初級 2		1	演習	1	
ドイツ語初級 3		1	演習	1	
ドイツ語初級 4		1	演習	1	
ドイツ語中級 1		1	演習	2	
ドイツ語中級 2		1	演習	2	
ドイツ語中級 3		1	演習	2	
ドイツ語中級 4		1	演習	2	
フランス語初級 1		1	演習	1	
フランス語初級 2		1	演習	1	
フランス語初級 3		1	演習	1	
フランス語初級 4		1	演習	1	
フランス語中級 1		1	演習	2	
フランス語中級 2		1	演習	2	
フランス語中級 3		1	演習	2	
フランス語中級 4		1	演習	2	
中国語初級 1		1	演習	1	
中国語初級 2		1	演習	1	
中国語初級 3		1	演習	1	
中国語初級 4		1	演習	1	
中国語中級 1		1	演習	2	
中国語中級 2		1	演習	2	
中国語中級 3		1	演習	2	
中国語中級 4		1	演習	2	
ハングル初級 1		1	演習	1	
ハングル初級 2		1	演習	1	
ハングル初級 3		1	演習	1	
ハングル初級 4		1	演習	1	
ハングル中級 1		1	演習	2	
ハングル中級 2		1	演習	2	
ハングル中級 3		1	演習	2	
ハングル中級 4		1	演習	2	
日本語 1		1	演習	1	
日本語 2		1	演習	1	
日本語 3		1	演習	1	
日本語 4		1	演習	1	
計	12	44			
合計	14	208			

別表（2） 専門教育科目（人文科学部表現文化学科）

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
専門教育科目	卒業研究	8		演習	4	
	文章表現	2		講義	1	

口頭表現	2		講義	1	8 単位以上選択必修
基礎ゼミナール	2		講義	1	
表現文化学入門	2		講義	1	
日本文学入門 1		2	講義	1	
日本文学入門 2		2	講義	1	
日本語表現入門 1		2	講義	1	
日本語表現入門 2		2	講義	1	
表現創造入門 1		2	講義	1	
表現創造入門 2		2	講義	1	
作品講読 1		2	講義	1	
作品講読 2		2	講義	1	
作品講読 3		2	講義	1	
作品講読 4		2	講義	1	
表現創造基礎 1		2	講義	1	
表現創造基礎 2		2	講義	1	
表現創造基礎 3		2	講義	1	
表現創造基礎 4		2	講義	1	
実地調査 1		1	講義	1	
実地調査 2		1	講義	1	
実地調査 3		1	講義	1	
実地調査 4		1	講義	1	
古典文学史		2	講義	2	6 単位以上選択必修
近現代文学史		2	講義	2	
日本語史		2	講義	2	
言語表現史		2	講義	2	
身体表現史		2	講義	2	
古典文学研究 1		2	講義	2	
古典文学研究 2		2	講義	2	8 単位以上選択必修
古典文学研究 3		2	講義	2	
近現代文学研究 1		2	講義	2	
近現代文学研究 2		2	講義	2	
近現代文学研究 3		2	講義	2	
日本語研究 1		2	講義	2	
日本語研究 2		2	講義	2	
表現創造研究 1		2	講義	2	
表現創造研究 2		2	講義	2	
表現創造研究 3		2	講義	2	
表現創造基礎 5		2	講義	2	
表現創造基礎 6		2	講義	2	
古典文学講義 1		2	講義	3	8 単位以上選択必修
古典文学講義 2		2	講義	3	
古典文学講義 3		2	講義	3	
近現代文学講義 1		2	講義	3	
近現代文学講義 2		2	講義	3	
近現代文学講義 3		2	講義	3	
日本語講義 1		2	講義	3	
日本語講義 2		2	講義	3	
表現創造講義 1		2	講義	3	
表現創造講義 2		2	講義	3	
表現創造講義 3		2	講義	3	
表現創造講義 4		2	講義	3	
作品読解ゼミナール 1		2	講義	2	

作品読解ゼミナール2		2	講義	2
作品読解ゼミナール3		2	講義	3
作品読解ゼミナール4		2	講義	3
アドバンストゼミナールⅠ		2	演習	3
アドバンストゼミナールⅡ		2	演習	3
表現文化ゼミナールⅠ	2		演習	2
表現文化ゼミナールⅡ	2		演習	2
表現文化ゼミナールⅢ	2		演習	3
表現文化ゼミナールⅣ	2		演習	3
表現文化ゼミナールⅤ	2		演習	4
表現文化ゼミナールⅥ	2		演習	4
合 計	28	104		

別表（3） 専門教育科目（人文科学部実践英語学科）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考
		必修	選択			
専門教育科目	卒業研究	8		演習	4	
	基礎ゼミナールⅠ	2		演習	1	
	基礎ゼミナールⅡ	2		演習	1	
	基礎ゼミナールⅢ	2		演習	2	
	基礎ゼミナールⅣ	2		演習	2	
	英文法Ⅰ	2		講義	1	
	英文法Ⅱ	2		講義	1	
	留学準備プログラム		2	演習	1	
	English Research SkillsⅠ	2		講義	1	
	English Research SkillsⅡ	2		講義	1	
	Extensive ReadingⅠ	2		講義	2	
	Extensive ReadingⅡ	2		講義	2	
	Intensive EnglishⅠ	4		演習	1	
	Intensive EnglishⅡ	4		演習	1	
	Intensive EnglishⅢ	4		演習	2	
	Intensive EnglishⅣ	4		演習	2	
	英語文化文学研究入門Ⅰ	2		講義	1	
	英語文化文学研究入門Ⅱ	2		講義	1	
	通訳演習入門		2	演習	1	
	翻訳演習入門		2	演習	1	
	英語学研究入門		2	講義	1	
	English WritingⅠ	2		演習	1	
	English WritingⅡ	2		演習	1	
	English WritingⅢ	2		演習	2	
	English WritingⅣ	2		演習	2	
	検定英語Ⅰ	2		講義	2	
	検定英語Ⅱ	2		講義	2	
	英語教育実践法Ⅰ		2	講義	2	
	英語教育実践法Ⅱ		2	講義	2	
	英語学研究Ⅰ		2	講義	2	
	英語学研究Ⅱ		2	講義	2	
	言語文化講読Ⅰ		2	演習	1	
	言語文化講読Ⅱ		2	演習	1	
	言語文化講読Ⅲ		2	演習	1	

言語文化講読 4		2	演習	1		
英文講読 I	2		講義	3		
英文講読 II	2		講義	3		
English Communication 1	2		講義	3		
English Communication 2	2		講義	3		
English Communication 3		2	講義	4	英語コミュニケーション コースは 8 単位以上選択必修	
English Communication 4		2	講義	4		
English Communication 5		2	講義	3		
English Communication 6		2	講義	3		
異文化理解と交流 1		2	講義	3		英米文化コースは 8 単位以上選択必修
異文化理解と交流 2		2	講義	3		
英語文化文学研究 1		2	講義	3		
英語文化文学研究 2		2	講義	3		
英語文化文学研究 3		2	講義	3		
通訳演習 1		2	演習	3	通訳・翻訳コースは 8 単位以上選択必修	
通訳演習 2		2	演習	3		
通訳演習 3		2	演習	3		
翻訳演習 1		2	演習	3		
翻訳演習 2		2	演習	3		
翻訳演習 3		2	演習	3		
英語ゼミナール I	2		演習	3		
英語ゼミナール II	2		演習	3		
英語ゼミナール III	2		演習	4		
英語ゼミナール IV	2		演習	4		
合 計	76	54				

別表（４） 専門教育科目（人文科学部総合歴史学科）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考	
		必修	選択				
専門教育科目	卒業研究	8		演習	4	10単位以上選択必修	
	総合歴史基礎ゼミナール	2		講義	1		
	日本史入門 1		2	講義	1		
	日本史入門 2		2	講義	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史入門 1		2	講義	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史入門 2		2	講義	1		
	アジア史入門 1		2	講義	1		
	アジア史入門 2		2	講義	1		
	歴史遺産入門 1		2	講義	1		
	歴史遺産入門 2		2	講義	1		
	日本史講読 1		2	演習	1		6 単位以上選択必修
	日本史講読 2		2	演習	1		
	日本史講読 3		2	演習	1		
	日本史講読 4		2	演習	1		
	日本史講読 5		2	演習	1		
	日本史講読 6		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 1		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 2		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 3		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 4		2	演習	1		
アジア史講読 1		2	演習	1			

アジア史講読 2		2	演習	1	}
アジア史講読 3		2	演習	1	
アジア史講読 4		2	演習	1	
歴史遺産史料講読 1		2	演習	1	
歴史遺産史料講読 2		2	演習	1	
歴史遺産史料講読 3		2	演習	1	
歴史遺産史料講読 4		2	演習	1	
地理学概論		2	講義	1	
地誌		2	講義	1	
哲学の世界と歴史		2	講義	1	
国際政治 1		2	講義	1	
国際政治 2		2	講義	1	
国際経済論		2	講義	1	
日本人の思想		2	講義	1	
ヨーロッパ人の思想		2	講義	1	
アジア人の思想		2	講義	1	
日本美術史		2	講義	1	
西洋美術史		2	講義	1	
東洋美術史		2	講義	1	
死生観の歴史		2	講義	1	
倫理と価値観の諸相		2	講義	1	
歴史人物の生と時代 1		2	講義	2	}
歴史人物の生と時代 2		2	講義	2	
地域史特殊研究 1		2	講義	1	
地域史特殊研究 2		2	講義	1	
吉備地方文化特論 1		2	講義	1	
吉備地方文化特論 2		2	講義	1	
吉備地方文化特論 3		2	講義	1	
吉備地方文化特論 4		2	講義	1	
考古学の基礎		2	講義	1	
考古学の現在		2	講義	1	
古文書学の基礎		2	講義	1	
古文書解読		2	講義	1	
総合歴史演習 1		2	演習	2	
総合歴史演習 2		2	演習	2	
総合歴史演習 3		2	演習	2	
総合歴史演習 4		2	演習	2	
日本史研究 1		2	演習	2	}
日本史研究 2		2	演習	2	
日本史研究 3		2	演習	2	
日本史研究 4		2	演習	2	
日本史研究 5		2	演習	2	
日本史研究 6		2	演習	2	
ヨーロッパ・アメリカ史研究 1		2	演習	2	
ヨーロッパ・アメリカ史研究 2		2	演習	2	
ヨーロッパ・アメリカ史研究 3		2	演習	2	
ヨーロッパ・アメリカ史研究 4		2	演習	2	
アジア史研究 1		2	演習	2	
アジア史研究 2		2	演習	2	
アジア史研究 3		2	演習	2	
アジア史研究 4		2	演習	2	
歴史遺産研究 1		2	演習	2	

2 単位以上選択必修

12 単位以上選択必修

8 単位以上選択必修

歴史遺産研究 2		2	演習	2
歴史遺産研究 3		2	演習	2
歴史遺産研究 4		2	演習	2
日本史講義 1		2	講義	3
日本史講義 2		2	講義	3
日本史講義 3		2	講義	3
ヨーロッパ・アメリカ史講義 1		2	講義	3
ヨーロッパ・アメリカ史講義 2		2	講義	3
アジア史講義 1		2	講義	3
アジア史講義 2		2	講義	3
歴史遺産講義 1		2	講義	3
歴史遺産講義 2		2	講義	3
総合歴史ゼミナールⅠ	2		演習	3
総合歴史ゼミナールⅡ	2		演習	3
総合歴史ゼミナールⅢ	2		演習	4
総合歴史ゼミナールⅣ	2		演習	4
合 計	18	166		

12単位以上選択必修

別表（５）総合教養教育科目・外国語教育科目（教育学部初等教育学科・教育心理学科）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	認定心理士必修 認定心理士必修
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学 1		2	講義	1	
	心理学 2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論 1		2	講義	1	
	日本文化論 2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題	2		講義	1	
	法学		2	講義	1	
	日本国憲法		2	講義	1	
	社会学の世界と歴史		2	講義	1	
	社会学概論		2	講義	1	
	基礎経営論		2	講義	1	
	基礎経済学		2	講義	1	
	経済学概論		2	講義	1	
	労働と社会		2	講義	1	
	政治学概論		2	講義	1	

初等教育学科必修・養護必修

現代教育の諸問題		2	講義	1	
健康と衛生		2	講義	1	
健康と栄養		2	講義	1	
環境と地球		2	講義	1	
環境と生命		2	講義	1	
化学の世界と歴史		2	講義	1	
現代生活と化学		2	講義	1	
からだの構造と機能		2	講義	1	
からだの化学と生物学		2	講義	1	
生命機能のプログラム		2	講義	1	
地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1	
日本伝統の折紙の科学		2	講義	1	
身体運動と健康の科学		2	講義	1	選択必修 2 単位
健康・スポーツと社会		2	講義	1	
スポーツ 1		1	演習	1	選択必修 1 単位
スポーツ 2		1	演習	1	
スポーツ 3		1	演習	1	
スポーツ 4		1	演習	1	
こころの健康科学		2	講義	1	
現代人とこころの障害		2	講義	1	
情報と社会		2	講義	1	
情報と表現		2	講義	1	
情報と文化		2	講義	1	
情報処理基礎演習		2	講義	1	
プログラミング基礎		2	講義	1	
プログラミング演習		2	講義	1	
データ処理演習		2	講義	1	
A I 基礎		2	講義	1	
データエンジニアリング基礎		2	講義	1	
データサイエンス		2	講義	1	
アジアの世界と文化		2	講義	1	
欧米の世界と文化		2	講義	1	
コラボレーション学修 1		2	講義	1	
仕事に役立つ数学		2	講義	1	
茶道 1		1	演習	1	
茶道 2		1	演習	1	
書道 1		1	演習	1	
書道 2		1	演習	1	
インターンシップ・キャリア実習 1		1	実習	2	
インターンシップ・キャリア実習 2		1	実習	2	
漢字検定 1		1	演習	1	
漢字検定 2		1	演習	1	
異文化コミュニケーション 1		2	講義	1	
異文化コミュニケーション 2		2	講義	1	
異文化コミュニケーション 3		2	講義	1	
異文化コミュニケーション 4		2	講義	1	
日本事情 1		2	講義	1	外国人留学生・帰国子女適用
日本事情 2		2	講義	1	
日本事情 3		2	講義	1	
日本事情 4		2	講義	1	
計		4	144		
外国語教育科目	English Reading 1	1		演習	1

English Reading 2	1		演習	1
English Reading 3	1		演習	2
English Reading 4	1		演習	2
General English 1		1	演習	1
General English 2		1	演習	1
General English 3		1	演習	1
General English 4		1	演習	1
検定外国語 1		2	演習	1
検定外国語 2		2	演習	1
検定外国語 3		2	演習	1
検定外国語 4		2	演習	1
ドイツ語初級 1		1	演習	1
ドイツ語初級 2		1	演習	1
ドイツ語初級 3		1	演習	1
ドイツ語初級 4		1	演習	1
ドイツ語中級 1		1	演習	2
ドイツ語中級 2		1	演習	2
ドイツ語中級 3		1	演習	2
ドイツ語中級 4		1	演習	2
フランス語初級 1		1	演習	1
フランス語初級 2		1	演習	1
フランス語初級 3		1	演習	1
フランス語初級 4		1	演習	1
フランス語中級 1		1	演習	2
フランス語中級 2		1	演習	2
フランス語中級 3		1	演習	2
フランス語中級 4		1	演習	2
中国語初級 1		1	演習	1
中国語初級 2		1	演習	1
中国語初級 3		1	演習	1
中国語初級 4		1	演習	1
中国語中級 1		1	演習	2
中国語中級 2		1	演習	2
中国語中級 3		1	演習	2
中国語中級 4		1	演習	2
ハングル初級 1		1	演習	1
ハングル初級 2		1	演習	1
ハングル初級 3		1	演習	1
ハングル初級 4		1	演習	1
ハングル中級 1		1	演習	2
ハングル中級 2		1	演習	2
ハングル中級 3		1	演習	2
ハングル中級 4		1	演習	2
日本語 1		1	演習	1
日本語 2		1	演習	1
日本語 3		1	演習	1
日本語 4		1	演習	1
計	4	48		
合計	8	192		

外国人留学生・帰国子女適用

別表(6) 専門教育科目(教育学部初等教育学科)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
専門教育科目	教育の歴史		2	講義	2	
	教職論	2		講義	1	
	教育学概論	2		講義	1	
	教育心理学	2		講義	1	
	学習・言語心理学		2	講義	2	
	学校制度論		2	講義	3	小・幼必修
	特別ニーズ教育総論		2	講義	2	小必修
	子ども家庭支援の心理学		2	講義	3	保必修
	保育者論		2	講義	3	保必修
	保育原理Ⅰ		2	講義	1	保必修
	保育原理Ⅱ		2	講義	3	
	社会的養護Ⅰ		2	講義	2	保必修
	社会的養護Ⅱ		1	演習	2	保必修
	社会福祉Ⅰ		2	講義	1	保必修
	社会福祉Ⅱ		2	講義	3	
	子ども家庭福祉Ⅰ		2	講義	1	保必修
	子ども家庭福祉Ⅱ		2	講義	3	
	発達心理学	2		講義	2	
	臨床心理学概論		2	講義	2	
	子どもの保健		2	講義	1	保必修
	子どもの健康と安全		1	演習	2	保必修
	子どもの食と栄養Ⅰ		1	演習	2	保必修
	子どもの食と栄養Ⅱ		1	演習	2	保必修
	子ども家庭支援論		2	講義	3	保必修
	小学校教育課程論		2	講義	2	小必修
	幼稚園教育課程論		2	講義	2	幼・保必修
	保育内容総論		2	演習	2	幼・保必修
	幼児の健康		2	演習	1	幼・保必修
	幼児の人間関係		2	演習	2	幼・保必修
	幼児の環境		2	演習	2	幼・保必修
	幼児の言葉		2	演習	1	幼・保必修
	幼児の表現		2	演習	1	幼・保必修
	幼児の健康の指導法		2	演習	2	幼・保必修
	幼児の人間関係の指導法		2	演習	3	幼・保必修
	幼児の環境の指導法		2	演習	3	幼・保必修
	幼児の言葉の指導法		2	演習	2	幼・保必修
	幼児の音楽表現の指導法		2	演習	2	幼・保必修
	幼児の造形表現の指導法		2	演習	2	幼・保必修
	乳児保育Ⅰ		2	講義	1	保必修
	乳児保育Ⅱ		1	演習	2	保必修
	乳児保育Ⅲ		2	講義	3	
	特別支援教育(障がい児保育を含む)Ⅰ		1	演習	1	幼・保必修
特別支援教育(障がい児保育を含む)Ⅱ		1	演習	2	幼・保必修	
子育て支援		1	演習	3	保必修	
児童文化		2	講義	3	幼必修	
国語科教育法Ⅰ		2	講義	2	小必修	
国語科教育法Ⅱ		2	講義	4		
算数科教育法Ⅰ		2	講義	2	小必修	
算数科教育法Ⅱ		2	講義	3		

社会科教育法		2	講義	3	小必修
理科教育法		2	講義	3	小必修
生活科教育法		2	講義	2	小必修
家庭科教育法		2	講義	3	小必修
外国語教育法		2	講義	3	小必修
音楽科教育法		2	講義	2	小必修
図画工作科教育法		2	講義	3	小必修
体育科教育法		2	講義	2	小必修
道徳の指導法		2	講義	2	小必修
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	講義	3	小必修
教育方法論		2	講義	3	小・幼必修
ICT活用の理論と方法		1	講義	2	小必修
幼児理解とカウンセリング		2	演習	2	幼・保必修
教育相談		2	講義	3	小必修
生徒・進路指導論		2	講義	2	小必修
国語Ⅰ		2	講義	1	小必修
国語Ⅱ		2	講義	1	
算数Ⅰ		2	講義	2	小必修
算数Ⅱ		2	講義	2	
社会Ⅰ		2	講義	2	小必修
社会Ⅱ		2	講義	3	
理科Ⅰ		2	講義	2	小必修
理科Ⅱ		2	講義	3	
家庭		2	講義	1	小必修
生活		2	講義	1	小必修
児童英語Ⅰ		2	講義	2	小必修
児童英語Ⅱ		2	講義	2	
音楽		2	演習	1	小必修
幼小連携教育演習1（音楽）		1	演習	3	
幼小連携教育演習2（音楽）		1	演習	3	
幼小連携教育演習3（造形・図工）		1	演習	3	
幼小連携教育演習4（造形・図工）		1	演習	3	
幼小連携教育演習5（運動・体育）		1	演習	3	
幼小連携教育演習6（運動・体育）		1	演習	3	
ピアノ基礎演習		1	演習	1	
ピアノ実践演習		1	演習	3	小・幼・保必修
図画工作Ⅰ		2	演習	1	小必修
図画工作Ⅱ		2	演習	1	
体育実技		1	演習	1	小必修
体育		2	演習	2	小必修
小学校教育実習		4	実習	3	小必修
小学校教育実習指導Ⅰ		1	実習	3	小必修
小学校教育実習指導Ⅱ		1	実習	3	小必修
介護等体験		1	実習	3	小必修
幼稚園教育実習Ⅰ		1	実習	2	幼必修
幼稚園教育実習Ⅱ		3	実習	3	幼必修
幼稚園教育実習指導Ⅰ		1	実習	3	幼必修
幼稚園教育実習指導Ⅱ		1	実習	3	幼必修
保育実習Ⅰ（保育所）		2	実習	2	保必修
保育実習Ⅰ（施設）		2	実習	2	保必修
保育実習Ⅱ（保育所）		2	実習	3	} 保は2単位選択必修
保育実習Ⅲ（施設）		2	実習	3	

保育実習指導Ⅰ（事前）		1	演習	2	保必修
保育実習指導Ⅰ（事後）		1	演習	2	保必修
保育実習指導Ⅱ		1	演習	3	保は1単位選択必修
保育実習指導Ⅲ		1	演習	3	
保幼小現場体験		1	実習	1	
特別支援学校現場体験		1	実習	2	
教育・福祉インターンシップ		1	実習	4	
特別支援教育総論		2	講義	1	特支必修
特別支援教育の制度と歴史		2	講義	2	
知的障害の心理学（障害者・障害児心理学B）		2	講義	1	特支必修
知的障害児の生理・病理		1	講義	1	特支必修
肢体不自由児の心理（障害者・障害児心理学A）		1	講義	1	特支必修
肢体不自由児の生理・病理		1	講義	2	特支必修
病弱児の心理		1	講義	3	特支必修
病弱児の生理・病理		1	講義	2	特支必修
障害児心理学各論		2	講義	3	特支選択必修
知的障害児教育Ⅰ		2	講義	2	特支必修
知的障害児教育Ⅱ		2	講義	2	特支必修
肢体不自由児教育		2	講義	3	特支必修
病弱児教育		2	講義	3	特支必修
特別支援教育各論		2	講義	3	特支選択必修
発達障害の心理学		2	講義	2	特支必修
発達障害児の生理・病理		1	講義	1	特支必修
視覚障害児教育総論		1	講義	3	特支必修
聴覚障害児教育総論		1	講義	3	特支必修
発達障害児教育		2	講義	3	特支必修
重複障害児教育総論		2	講義	3	特支必修
言語障害児教育総論		2	講義	2	
特別支援教育実習指導		1	実習	4	特支必修
特別支援教育実習		2	実習	4	特支必修
初年次教育Ⅰ	1		演習	1	
初年次教育Ⅱ	1		演習	1	
教職研究Ⅰ		1	演習	3	
教職研究Ⅱ		1	演習	4	
保育・教職実践演習（幼・小）		2	演習	4	小・幼・保必修
初等教育ゼミナールⅠ	2		演習	3	
初等教育ゼミナールⅡ	2		演習	3	
初等教育ゼミナールⅢ	2		演習	4	
初等教育ゼミナールⅣ	2		演習	4	
卒業研究	6		演習	4	
合 計	24	221			

※「特別ニーズ教育総論」「特別支援教育（障がい児保育を含む）Ⅰ」「特別支援教育（障がい児保育を含む）Ⅱ」の3科目の中から2単位以上選択必修

別表（7） 専門教育科目(教育学部教育心理学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
専門教育科目	教育学概論	2		講義	1	養護必修
	教職論		2	講義	1	
	教育の歴史		2	講義	2	

心理学概論	2		講義	1	
教育心理学(教育・学校心理学)	2		講義	1	
学習・言語心理学		2	講義	1	公認心理師必修・認定心理士選択必修
学校制度論		2	講義	3	養護必修
カウンセリング概論(心理学的支援法)		2	講義	1	公認心理師必修・認定心理士選択必修・准学校心理士必修
カウンセリング演習		2	演習	2	認定心理士選択必修
家族心理学		2	講義	2	認定心理士選択必修
心理学研究法		2	講義	3	公認心理師・認定心理士必修
心理学実験		2	実習	3	公認心理師・認定心理士必修
心理検査法実習(心理的アセスメント)		2	実習	3	公認心理師・認定心理士必修・准学校心理士必修
社会・集団・家族心理学		2	講義	2	公認心理師必修・認定心理士選択必修
心理学統計法Ⅰ		2	講義	2	公認心理師・認定心理士必修
心理学統計法Ⅱ		2	講義	3	
心理療法		2	講義	3	認定心理士選択必修
心理演習		2	演習	3	公認心理師必修
臨床心理実践演習		2	演習	3	
感情・人格心理学		2	講義	1	公認心理師必修・認定心理士選択必修
生理心理学(神経・生理心理学A)		2	講義	2	公認心理師必修・認定心理士選択必修
神経心理学(神経・生理心理学B)		1	講義	3	公認心理師必修・認定心理士選択必修
知覚・認知心理学		2	講義	2	公認心理師必修・認定心理士選択必修
発達心理学	2		講義	2	准学校心理士必修
臨床心理学概論	2		講義	1	
精神医学概論(精神疾患とその治療)		2	講義	2	公認心理師必修・認定心理士選択必修
公認心理師の職責		2	講義	2	公認心理師必修
関係行政論		2	講義	2	公認心理師必修
知的障害の心理学(障害者・障害児心理学B)		2	講義	1	公認心理師必修・認定心理士選択必修・准学校心理士必修
肢体不自由児の心理(障害者・障害児心理学A)		1	講義	1	公認心理師必修・認定心理士選択必修・准学校心理士必修
病弱児の心理		1	講義	2	認定心理士選択必修
障害児心理学各論		2	講義	2	
発達障害の心理学		2	講義	2	認定心理士選択必修
教育課程論		2	講義	2	養護必修
特別ニーズ教育総論		2	講義	2	養護必修
道徳の指導法		2	講義	2	養護必修
総合的な学習の時間の指導法		1	講義	3	養護必修
特別活動の指導法		2	講義	3	養護必修
教育方法論		2	講義	3	養護必修
生徒指導論		2	講義	3	養護必修
教育相談		2	講義	2	養護必修・認定心理士選択必修
養護実習指導Ⅰ		1	演習	3	養護必修
養護実習指導Ⅱ		1	演習	3	養護必修
養護実習		4	実習	3	養護必修

教職実践演習(養護)		2	演習	4	養護必修
衛生学		2	講義	2	養護必修
公衆衛生学		2	講義	3	養護必修
学校保健	2		講義	1	
保健教育論		2	講義	2	養護必修
保健教育演習		1	演習	3	
養護学概論		2	講義	1	養護必修
養護活動論		2	講義	2	養護必修
保健室経営論		2	講義	4	
健康相談活動		2	講義	3	養護必修
栄養学(食品学を含む)		2	講義	1	養護必修
食育論		2	講義	4	
人体の構造と機能1(人体の構造と機能及び疾病I)		2	講義	1	公認心理師・養護必修
人体の構造と機能2		2	講義	1	養護必修
微生物学		2	講義	2	養護必修
免疫学		2	講義	2	養護必修
薬理概論		2	講義	3	
精神保健		2	講義	2	養護必修・認定心理士選択必修
小児精神医学		2	講義	3	認定心理士選択必修
看護学		2	講義	1	養護必修
看護学演習		1	演習	2	養護必修
看護学臨床実習		2	実習	3	養護必修
学校救急処置演習		1	演習	3	養護必修
小児疾病論1(人体の構造と機能及び疾病II)		2	講義	2	公認心理師必修・養護選択必修
小児疾病論2		2	講義	3	養護選択必修
小児保健		2	講義	2	養護必修
初年次教育I	1		演習	1	
初年次教育II	1		演習	1	
ボランティア体験I		1	演習	1	
ボランティア体験II		1	演習	2	
教職研究I		1	演習	3	
教職研究II		1	演習	4	
健康・医療心理学		2	講義	3	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
福祉心理学		2	講義	2	公認心理師必修・認定心理士選択必修・准学校心理士必修
司法・犯罪心理学		2	講義	3	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
産業・組織心理学		2	講義	3	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
心理実習I		2	実習	3	公認心理師必修
心理実習II		2	実習	3	公認心理師必修
心理学とキャリア		1	講義	2	
心理学とキャリア実践		1	講義	3	
心理学検定1		2	演習	1	
心理学検定2		2	演習	1	
教育心理ゼミナールI	2		演習	3	

教育心理ゼミナールⅡ	2		演習	3
教育心理ゼミナールⅢ	2		演習	4
教育心理ゼミナールⅣ	2		演習	4
卒業研究	6		演習	4
合 計	28	143		

別表(8) 総合教養教育科目・外国語教育科目(経営学部経営学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学1		2	講義	1	
	心理学2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論1		2	講義	1	
	日本文化論2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題		2	講義	1	
	法学		2	講義	1	
	日本国憲法		2	講義	1	
	社会学の世界と歴史		2	講義	1	
	社会学概論		2	講義	1	
	基礎経営論		2	講義	1	
	基礎経済学		2	講義	1	
	経済学概論		2	講義	1	
	労働と社会		2	講義	1	
	政治学概論		2	講義	1	
	現代教育の諸問題		2	講義	1	
	健康と衛生		2	講義	1	
	健康と栄養		2	講義	1	
	環境と地球		2	講義	1	
	環境と生命		2	講義	1	
	化学の世界と歴史		2	講義	1	
	現代生活と化学		2	講義	1	
	からだの構造と機能		2	講義	1	
	からだの化学と生物学		2	講義	1	
	生命機能のプログラム		2	講義	1	
	地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1	

日本伝統の折紙の科学		2	講義	1		
身体運動と健康の科学		2	講義	1		
健康・スポーツと社会		2	講義	1		
スポーツ 1		1	演習	1		
スポーツ 2		1	演習	1		
スポーツ 3		1	演習	1		
スポーツ 4		1	演習	1		
こころの健康科学		2	講義	1		
現代人とこころの障害		2	講義	1		
情報と表現		2	講義	1		
情報と文化		2	講義	1		
情報と社会		2	講義	1		
情報処理基礎演習		2	講義	1		
プログラミング基礎		2	講義	1		
プログラミング演習		2	講義	1		
データ処理演習		2	講義	1		
A I 基礎		2	講義	1		
データエンジニアリング基礎		2	講義	1		
データサイエンス		2	講義	1		
アジアの世界と文化		2	講義	1		
欧米の世界と文化		2	講義	1		
コラボレーション学修 1		2	講義	1		
仕事に役立つ数学		2	講義	1		
茶道 1		1	演習	1		
茶道 2		1	演習	1		
書道 1		1	演習	1		
書道 2		1	演習	1		
インターンシップ・キャリア実習 1		1	実習	2		
インターンシップ・キャリア実習 2		1	実習	2		
漢字検定 1		1	演習	1		
漢字検定 2		1	演習	1		
異文化コミュニケーション 1		2	講義	1		
異文化コミュニケーション 2		2	講義	1		
異文化コミュニケーション 3		2	講義	1		
異文化コミュニケーション 4		2	講義	1		
日本事情 1		2	講義	1	外国人留学生・帰国子女適用	
日本事情 2		2	講義	1		
日本事情 3		2	講義	1		
日本事情 4		2	講義	1		
計		2	146			
外国語教育科目	General English 1	1		演習	1	4 単位以上選択必修
	General English 2	1		演習	1	
	General English 3	1		演習	1	
	General English 4	1		演習	1	
	General English 5		1	演習	1	
	General English 6		1	演習	1	
	General English 7		1	演習	1	
	General English 8		1	演習	1	
	中国語入門 1		1	演習	1	

中国語入門 2		1	演習	1	国際経営は 4単位選択必修
中国語入門 3		1	演習	1	
中国語入門 4		1	演習	1	
留学対策講座(英語) 1		1	演習	2	
留学対策講座(英語) 2		1	演習	2	
留学対策講座(英語) 3		1	演習	2	
留学対策講座(英語) 4		1	演習	2	
留学対策講座(中国語) 1		1	演習	2	
留学対策講座(中国語) 2		1	演習	2	
留学対策講座(中国語) 3		1	演習	2	
留学対策講座(中国語) 4		1	演習	2	
ドイツ語初級 1		1	演習	1	
ドイツ語初級 2		1	演習	1	
ドイツ語初級 3		1	演習	1	
ドイツ語初級 4		1	演習	1	
フランス語初級 1		1	演習	1	
フランス語初級 2		1	演習	1	
フランス語初級 3		1	演習	1	
フランス語初級 4		1	演習	1	
ハングル初級 1		1	演習	1	
ハングル初級 2		1	演習	1	
ハングル初級 3		1	演習	1	
ハングル初級 4		1	演習	1	
日本語 1		1	演習	1	外国人留学生・帰国子女適用
日本語 2		1	演習	1	
日本語 3		1	演習	1	
日本語 4		1	演習	1	
計	4	32			
合計	6	178			

別表(9) 専門教育科目(経営学部経営学科)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考	
		必修	選択				
専門基礎科目	データサイエンス入門	2		講義	1		
	会計学入門	2		講義	1		
	マーケティング入門	2		講義	1		
	経営学入門	2		講義	1		
	マーケティングリサーチ入門	2		講義	1		
	経済学入門	2		講義	1		
	社会統計学	2		講義	2		
	思考・発想法入門	2		講義	1		
	初級簿記			2	講義	1	
	中級簿記Ⅰ			2	講義	1	
	中級簿記Ⅱ			2	講義	1	
	英文ビジネスプレゼンテーション入門			2	講義	1	
	国際ビジネス入門			2	講義	1	
	商業学入門			2	講義	1	

	農業経済学入門	2	講義	1	8 単位選択必修
	ホスピタリティ入門	2	講義	1	
	経済史入門	2	講義	1	
	経営戦略論入門	2	講義	1	
	経営哲学入門	2	講義	1	
	金融概論	2	講義	1	
	証券市場論入門	2	講義	1	
専門発展科目	企業倫理	2	講義	2	マネジメント系から 8 単位選択必修
	コーポレートガバナンス論	2	講義	2	
	経営管理	2	講義	2	
	企業と社会	2	講義	2	
	外国経営史	2	講義	3	
	日本経営史	2	講義	3	
	経営組織論Ⅰ	2	講義	3	
	経営組織論Ⅱ	2	講義	3	
	経営戦略論	2	講義	3	
	リーダーシップ論	2	講義	2	
	生産システム論	2	講義	3	
	人的資源管理論	2	講義	3	
	知的所有権	2	講義	3	
	税法概論	2	講義	3	マーケティング系から 6 単位選択必修
	マーケティング戦略論	2	講義	3	
	消費者行動論	2	講義	3	
	商業学	2	講義	3	
	広告論	2	講義	2	
	サービス・マーケティング	2	講義	3	
	製品戦略論	2	講義	3	
	地域マーケティング論	2	講義	3	
	市場情報分析	2	講義	3	
	イノベーション・マネジメント	2	講義	3	
	財務会計	2	講義	2	経営情報系から 8 単位選択必修
	管理会計	2	講義	3	
	経営分析	2	講義	3	
	原価計算	2	講義	2	
	上級簿記Ⅰ	2	講義	3	
	上級簿記Ⅱ	2	講義	3	
	ミクロ経済学	2	講義	3	
	マクロ経済学	2	講義	3	
	ビジネス・エコノミクス	2	講義	2	
	法と経済	2	講義	3	
経済統計分析	2	講義	3	グローバル系から 8 単位選択必修	
金融政策論	2	講義	3		
価値開発工学論	2	講義	3		
ビジネス・プランニング	2	講義	3		
アジア企業論	2	講義	3		
アジアの農業と経済	2	講義	3		
第6次産業論	2	講義	3		
農業経済学	2	講義	3		
サービスデザイン	2	講義	3		
観光マネジメント	2	講義	3		

中小企業論		2	講義	3	
岡山経済論		2	講義	2	
岡山産業論		2	講義	2	
Introduction to Management		2	講義	2	
Advanced Management		2	講義	3	
フィールド調査論Ⅰ		2	演習	3	
フィールド調査論Ⅱ		2	演習	3	
特別講義Ⅰ		2	講義	2	
特別講義Ⅱ		2	講義	3	
導入ゼミナールⅠ	2		演習	1	
導入ゼミナールⅡ	2		演習	1	
専門ゼミナールⅠ	2		演習	2	
専門ゼミナールⅡ		2	演習	2	地域経営・経営実践必修
専門ゼミナールⅢ	2		演習	3	
専門ゼミナールⅣ	2		演習	3	
専門ゼミナールⅤ	2		演習	4	
専門ゼミナールⅥ	2		演習	4	
留学プログラム		8	実習	2	国際経営必修
長期インターンシップ		8	実習	2	地域経営必修
PBL実習1		2	実習	2	経営実践必修
PBL実習2		2	実習	2	経営実践必修
PBL実習3		2	実習	2	経営実践必修
PBL実習4		2	実習	2	経営実践必修
卒業研究	4		演習	4	
合 計		34	156		

別表(10) 総合教養教育科目・外国語教育科目(薬学部薬学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学1		2	講義	1	
	心理学2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論1		2	講義	1	
	日本文化論2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題		2	講義	1	

法学		2	講義	1	
日本国憲法		2	講義	1	
社会学の世界と歴史		2	講義	1	
社会学概論		2	講義	1	
基礎経営論		2	講義	1	
基礎経済学		2	講義	1	
経済学概論		2	講義	1	
労働と社会		2	講義	1	
政治学概論		2	講義	1	
現代教育の諸問題		2	講義	1	
健康と衛生		2	講義	1	
健康と栄養		2	講義	1	
環境と地球		2	講義	1	
環境と生命		2	講義	1	
化学の世界と歴史		2	講義	1	
現代生活と化学		2	講義	1	
からだの構造と機能		2	講義	1	
からだの化学と生物学		2	講義	1	
生命機能のプログラム		2	講義	1	
地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1	
日本伝統の折紙の科学		2	講義	1	
身体運動と健康の科学		2	講義	1	
健康・スポーツと社会		2	講義	1	
スポーツ1		1	演習	1	
スポーツ2		1	演習	1	
スポーツ3		1	演習	1	
スポーツ4		1	演習	1	
こころの健康科学		2	講義	1	
現代人とこころの障害		2	講義	1	
情報と表現		2	講義	1	
情報と文化		2	講義	1	
情報と社会		2	講義	1	
アジアの世界と文化		2	講義	1	
欧米の世界と文化		2	講義	1	
コラボレーション学修1		2	講義	1	
仕事に役立つ数学		2	講義	1	
茶道1		1	演習	1	
茶道2		1	演習	1	
日本事情1		2	講義	1	
日本事情2		2	講義	1	
日本事情3		2	講義	1	
日本事情4		2	講義	1	
情報処理基礎演習		2	講義	1	
プログラミング基礎		2	講義	1	
プログラミング演習		2	講義	1	
データ処理演習		2	講義	1	
AI基礎		2	講義	1	
データエンジニアリング基礎		2	講義	1	
データサイエンス		2	講義	1	
薬学基礎入門	1		講義	1	
計	3	132			
外国語教育科目	English Writing 1		1	演習	1

外国人留学生・帰国子女適用

English Writing 2		1	演習	1
English Reading 1		1	演習	1
English Reading 2		1	演習	1
基礎科学英語		1	演習	2
フランス語初級 1		1	演習	1
フランス語初級 2		1	演習	1
フランス語初級 3		1	演習	1
フランス語初級 4		1	演習	1
ドイツ語初級 1		1	演習	1
ドイツ語初級 2		1	演習	1
ドイツ語初級 3		1	演習	1
ドイツ語初級 4		1	演習	1
中国語初級 1		1	演習	1
中国語初級 2		1	演習	1
中国語初級 3		1	演習	1
中国語初級 4		1	演習	1
ハングル初級 1		1	演習	1
ハングル初級 2		1	演習	1
ハングル初級 3		1	演習	1
ハングル初級 4		1	演習	1
日本語 1		1	演習	1
日本語 2		1	演習	1
日本語 3		1	演習	1
日本語 4		1	演習	1
計		25		
合計	3	157		

外国人留学生・帰国子女適用

別表(11) 専門教育科目(薬学部薬学科)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
専門教育科目	薬学への招待	1		講義	1	
	初年次ゼミナール	1		演習	1	
	早期体験学習	1		演習	1	
	サイエンスコミュニケーション	1		演習	1	
	薬学対話演習	1		演習	2	
	薬学基礎数学	2		講義	1	
	薬学基礎物理学	2		講義	1	
	薬学基礎化学	2		講義	1	
	薬学基礎生物学	2		講義	1	
	医療薬学英語	1		演習	3	
	卒業特別講義	8		講義	6	
	化学物質の構造と性質	1		講義	1	
	溶液の性質と化学反応速度論	2		講義	2	
	熱力学と物理平衡	2		講義	2	
	医薬品分析化学	2		講義	1	
	機器分析学	1		講義	2	
	臨床分析技術	2		講義	2	
	無機化学	1		講義	1	
	有機薬化学 1	2		講義	1	
	有機薬化学 2	2		講義	2	
	有機薬化学 3	2		講義	2	
	有機薬化学 4	1		講義	3	

医薬品化学	1		講義	3
生薬・天然物化学1	1		講義	1
生薬・天然物化学2	2		講義	2
化学構造解析学	1		講義	2
生化学1	2		講義	1
生化学2	2		講義	2
生体情報化学	1		講義	2
免疫学	2		講義	2
分子生物学	2		講義	1
遺伝子工学	1		講義	2
微生物学	1		講義	2
薬品微生物学	1		講義	2
衛生化学	2		講義	2
公衆衛生学	2		講義	3
食品衛生学	2		講義	3
臨床微生物学	2		講義	3
環境毒性学	2		講義	3
環境衛生学	2		講義	4
解剖生理学1	2		講義	2
解剖生理学2	2		講義	2
薬理学1	2		講義	2
薬理学2	2		講義	3
薬理学3	2		講義	3
薬理学4	1		講義	4
薬物治療学1	2		講義	3
薬物治療学2	2		講義	3
薬物治療学3	1		講義	4
生物薬剤学	2		講義	2
物理薬剤学	2		講義	3
薬物動態学	2		講義	3
薬物代謝学	2		講義	3
製剤学	2		講義	4
製剤機能論	1		講義	4
臨床薬学概論	2		講義	3
医療統計学	2		講義	3
医薬品情報学	2		講義	3
調剤学	2		講義	3
臨床コミュニケーション演習	1		演習	3
薬事関係法規	2		講義	4
新薬開発論	1		講義	4
薬剤師職能論	1		講義	4
漢方薬学	1		講義	4
処方解析学	2		講義	4
医療薬学演習	1		演習	4
基礎薬学実習1(分析系・生薬系)	1		実習	1
基礎薬学実習2(物理系・化学系)	2		実習	2
生命薬学実習1(生化学・免疫学)	2		実習	2
生命薬学実習2(衛生・微生物)	2		実習	3
医療薬学実習(薬理・薬剤)	2		実習	3
実務実習事前学習	4		実習	4
薬学統合演習	2		実習	4
病院・薬局実務実習	20		実習	5

卒業特別研究	10		実習	4-6
臨床心理学		1	講義	2
看護学概論		1	講義	3
創薬化学		1	講義	3
応用生化学		1	講義	3
医療放射化学		1	講義	3
保健衛生学		1	講義	4
社会薬学		1	講義	4
臨床漢方薬学		1	講義	4
臨床動態学		1	講義	4
応用薬理学		1	講義	4
フィジカルアセスメント		1	講義	5
専門薬剤師概論		1	講義	5
薬学海外研修		2	実習	3
キャリア支援科目 (がん医療, 高度医療)		1	講義	2
キャリア支援科目 (危機管理 (災害医療))		1	講義	2
キャリア支援科目 (地域医療と薬局経営)		1	講義	2
キャリア支援科目 (心のケア)		1	実習	2
合 計	158	18		

別表 (12) 教職(中・高)に関する科目 (人文科学部各学科共通)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
教職に関する科目	教職論		2	講義	1	教職必修
	教育学概論		2	講義	1	教職必修
	教育心理学(教育・学校心理学)		2	講義	2	教職必修
	学校制度論		2	講義	3	教職必修
	特別ニーズ教育総論		2	講義	2	教職必修
	教育課程論		2	講義	2	教職必修
	教科教育法(国語) I		2	講義	2	教職必修 (表現文化学科)
	教科教育法(国語) II		2	講義	3	教職必修 (表現文化学科)
	教科教育法(国語) III		2	講義	3	教職必修 (表現文化学科中一種)
	教科教育法(国語) IV		2	講義	3	教職必修 (表現文化学科中一種)
	教科教育法(英語) I		2	講義	2	教職必修 (実践英語学科)
	教科教育法(英語) II		2	講義	3	教職必修 (実践英語学科)
	教科教育法(英語) III		2	講義	3	教職必修 (実践英語学科中一種)
	教科教育法(英語) IV		2	講義	3	教職必修 (実践英語学科中一種)
	教科教育法(社会・地理歴史) I		2	講義	2	教職必修 (総合歴史学科 中一種(社会)・高一種(地理歴史))
	教科教育法(社会・地理歴史) II		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科 中一種(社会)・高一種(地理歴史))
	教科教育法(社会・地理歴史) III		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科中一種(社会))
	教科教育法(社会・地理歴史) IV		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科中一種(社会))
	教科教育法(公民) I		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科高一種(公民))
	教科教育法(公民) II		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科高一種(公民))

博物館実習Ⅲ		1	実習	4	博物館必修
博物館情報・メディア論		2	講義	2	博物館必修
博物館教育論		2	講義	2	博物館必修
日本文化論 1		2	講義	1	8 単位博物館必修
日本文化論 2		2	講義	1	
古文書学の基礎		2	講義	1	
古文書解説		2	講義	1	
人類学の世界と歴史		2	講義	1	
日本美術史		2	講義	1	
西洋美術史		2	講義	1	
東洋美術史		2	講義	1	
考古学の基礎		2	講義	1	
考古学の現在		2	講義	1	
アジアの民族誌		2	講義	1	
計		41			

別表 (15) 図書館に関する科目(人文科学部・教育学部各学科共通)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
図書館に関する科目	生涯学習概論Ⅰ		2	講義	1	図書館必修
	図書館概論		2	講義	1	図書館必修
	図書館制度・経営論		2	講義	3	図書館必修
	図書館情報技術論		2	講義	2	図書館必修
	図書館サービス概論		2	講義	1	図書館必修
	情報サービス論		2	講義	1	図書館必修
	児童サービス論		2	講義	2	図書館必修
	情報サービス演習Ⅰ		1	演習	2	図書館必修
	情報サービス演習Ⅱ		1	演習	2	図書館必修
	図書館情報資源概論		2	講義	1	図書館必修
	情報資源組織論		2	講義	2	図書館必修
	情報資源組織演習Ⅰ		1	演習	2	図書館必修
	情報資源組織演習Ⅱ		1	演習	2	図書館必修
	図書館基礎特論		1	講義	2	5 科目中 2 科目 図書館必修
	図書館サービス特論		1	講義	1	
	図書館情報資源特論		1	講義	2	
	図書・図書館史		1	講義	1	
図書館施設論		1	講義	1		
計			27			

別表 (16) 司書教諭に関する科目(人文科学部・教育学部各学科共通)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館		2	講義	2	司書教諭必修
	学校図書館メディアの構成		2	講義	2	司書教諭必修
	学習指導と学校図書館		2	講義	2	司書教諭必修
	読書と豊かな人間性		2	講義	2	司書教諭必修
	情報メディアの活用		2	講義	2	司書教諭必修
計			10			

別表 (17) 社会教育に関する科目(人文科学部・教育学部各学科共通)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
社会教育に関する科目	生涯学習概論Ⅰ		2	講義	1	社会教育必修
	生涯学習概論Ⅱ		2	講義	1	社会教育必修
	生涯学習支援論Ⅰ		2	講義	2	社会教育必修
	生涯学習支援論Ⅱ		2	講義	2	社会教育必修
	社会教育経営論Ⅰ		2	講義	2	社会教育必修
	社会教育経営論Ⅱ		2	講義	2	社会教育必修
	社会教育実習		1	実習	3	社会教育必修
	社会教育演習Ⅰ		1	演習	3	

社会教育演習Ⅱ		1	演習	3	3単位社会教育必修
社会教育課題研究Ⅰ		1	演習	3	
社会教育課題研究Ⅱ		1	演習	3	
情報と社会		2	講義	1	社会教育必修
共生社会と社会教育		2	講義	2	
博物館概論		2	講義	1	2単位選択必修
図書館概論		2	講義	1	
図書館情報技術論		2	講義	2	
博物館情報・メディア論		2	講義	2	
教育学概論		2	講義	1	8単位選択必修
考古学の基礎		2	講義	1	
考古学の現在		2	講義	1	
死生観の歴史		2	講義	1	
人権の現代的課題		2	講義	1	
環境と生命		2	講義	1	
健康・スポーツと社会		2	講義	1	
現代人とこころの障害		2	講義	1	
社会福祉Ⅰ		2	講義	1	
計		47			

別表(18) 医療秘書に関する科目(人文科学部・教育学部・経営学部各学科共通)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
医療秘書に関する科目	衛生学		2	講義	2	医療秘書必修
	患者論と医の倫理		2	講義	1	医療秘書必修
	人体の構造と機能1(人体の構造と機能及び疾病Ⅰ)		2	講義	1	医療秘書必修
	人体の構造と機能2		2	講義	1	医療秘書必修
	臨床検査と薬の知識		2	講義	1	医療秘書必修
	医療にかかわる用語		2	講義	1	医療秘書必修
	コミュニケーション論		1	講義	1	医療秘書必修
	医療秘書概論		2	講義	1	医療秘書必修
	医療秘書実務Ⅰ		1	演習	1	医療秘書必修
	医療秘書実務Ⅱ		1	演習	2	医療秘書必修
	医療情報処理学		2	講義	1	医療秘書必修
	医療情報処理Ⅰ		1	演習	1	医療秘書必修
	医療情報処理Ⅱ		1	演習	1	医療秘書必修
	医療関係法規概論		2	講義	2	医療秘書必修
	実務研修		3	実習	2	医療秘書必修
	実務演習Ⅰ		1	演習	1	医療秘書必修
	実務演習Ⅱ		1	演習	1	医療秘書必修
	実務演習Ⅲ		1	演習	1	医療秘書必修
計			29			

2024 年度 人文科学部履修要覧(案)より抜粋

I 教職課程

教職課程とは教育職員免許状を取得するために「教育職員免許法及び同法施行規則」に定められた単位を修得する者のために設けられている課程である。

教職課程に関する授業科目は,卒業に必要な単位と併せて履修しなければならない。

また,教職課程を履修する者は将来教員の職を志すものでなければならない。ただ単に免許状の取得だけを目的としてこの課程を履修すべきではない。

1.教育職員免許状について

(1)免許状の種類および免許教科

学科		免許状	
人文科学部	表現文化学科	高等学校教諭一種免許状 (国語)	中学校教諭一種免許状 (国語)
	実践英語学科	高等学校教諭一種免許状 (外国語(英語))	中学校教諭一種免許状 (外国語(英語))
	総合歴史学科	高等学校教諭一種免許状 (地理歴史)	中学校教諭一種免許状 (社会)
		高等学校教諭一種免許状 (公民)	

(2)基礎資格と最低修得単位数

次表は,教育職員免許状取得のための基礎資格および修得すべき法規上の単位(最低)数を示したものである

所要資格 免許状の種類		基礎資格	大学において取得することを必要とする最低単位数			免許教科
			教科及び教職に関する科目			
			教育の基礎的理解 に関する科目等*	教科及び教科の指 導法に関する科目	大学が独自に 設定する科目	
高等学校教諭	一種	学士の学位を有すること	23 単位	24 単位	12 単位	国語 外国語(英語) 地理歴史 公民
中学校教諭	一種	学士の学位を有すること	27 単位	28 単位	4 単位	国語 外国語(英語) 社会

*教育の基礎的理解に関する科目等は「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び,生徒指導,教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の総称

2.単位の修得方法について

本学において、教育職員免許状を取得するためには、卒業要件単位の修得を基礎資格とし、各々所属している学科の授業科目表に定める(1)総合教養教育科目(教養科目)等(2)教科及び教職に関する科目を次のとおり修得しなければならない。

(1)総合教養教育科目等

授業科目種別	最低修得単位数
総合教養教育科目	20 単位以上 「日本国憲法」「人権の現代的課題」「身体運動と健康の科学又は健康・スポーツと社会」各 2 単位、「数理・データサイエンス基礎」「情報リテラシー」「情報処理演習」「情報と表現」「情報と文化」の中から 2 単位、及び「スポーツ」1 単位を必ず修得すること
外国語教育科目	表現文化学科 6 単位以上 実践英語学科 12 単位以上 総合歴史学科 8 単位以上

※教職履修カルテの作成について

4 年次後期の「教職実践演習」の履修に向けて、教職課程履修者は「教職履修カルテ」を作成しなければならない。

また、指定された時期に提出する必要があるが、カルテ未提出者はそれ以降の教職課程の履修を認めない。

カルテの作成方法・提出時期について、説明会を実施するので、必ず出席すること。

(2)高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状に関する科目

人文科学部表現文化学科・実践英語学科・総合歴史学科で高等学校教諭一種免許状(国語・外国語(英語)・地理歴史・公民)及び中学校教諭一種免許状(国語・外国語(英語)・社会)を取得しようとする者は、次の表(共通表及び学科ごとの表1・2)にしたがって教科及び教職に関する科目を履修すること。

表現文化学科・実践英語学科・総合歴史学科 教科及び教職に関する科目

共通表(教育の基礎的理解に関する科目等)

免許法施行規則に定める科目区分等			本学開設科目名					
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目名	単位数	授業形態	履修年次	開講期	履修上の注意
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	2	講義	1	後期	教職必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2	講義	1	前期	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		学校制度論	2	講義	3	前期	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学(教育・学校心理学)	2	講義	2	前期	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別ニーズ育総論	2	講義	2	前期	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム、マネジメントを含む。)		教育課程論	2	講義	2	前期	
生徒指導・総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳の指導法	2	講義	2	後期	中一種必修
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1	講義	3	後期	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	2	講義	3	前期	教職必修
	教育の方法及び技術		教育方法論	2	講義	3	前期	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と方法	1	講義	2	集中	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	講義	3	後期	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2	講義	2	後期	
科目教育実践に関する	教育実習	中5 高3	事前・事後指導 ※1	1	講義	3・4	集中	中一種必修
			教育実習Ⅰ	2	実習	4	集中	
			教育実習Ⅱ	2	実習	4	集中	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	演習	4	後期	
最低修得単位数		中27 高23						

※1 「事前・事後指導」が3年次後期(2月)から始まるが、履修登録は4年次に行うものとする。

総合歴史学科 (2024 年度以降入学生)

教科及び教職に関する科目

表 1(教科及び教科の指導法に関する科目)

免許 教科	免許法施行規則に定める科目区分等		本学開設科目名				文部科学省令に定める大学において修得 することを必要とする教科及び教科の指 導法に関する科目の最低単位数	
	科目区分	各科目に含める必要事項	授業科目名	単位数	授業 形態	履修 年次		
社会 (中一 種免)	教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 する 科 目	日本史・外国史	日本史入門 1	▲▼	2	講義	1	1以上
			日本史入門 2	▲▼	2	講義	1	
			ヨーロッパ・アメリカ史入門 1	▲▼	2	講義	1	
			ヨーロッパ・アメリカ史入門 2	▲▼	2	講義	1	
			アジア史入門 1	▲▼	2	講義	1	
			アジア史入門 2	▲▼	2	講義	1	
			日本史講読 1～6		各 2	演習	1	
			ヨーロッパ・アメリカ史講読 1～4		各 2	演習	1	
			アジア史講読 1～4		各 2	演習	1	
			日本史研究 1～6		各 2	演習	2	
			ヨーロッパ・アメリカ史研究 1～4		各 2	演習	2	
			アジア史研究 1～4		各 2	演習	2	
			日本史講義 1～3		各 2	講義	3	
			ヨーロッパ・アメリカ史講義 1・2		各 2	講義	3	
			アジア史講義 1・2		各 2	講義	3	
			考古学の基礎		2	講義	1	
			考古学の現在		2	講義	1	
			古文書学の基礎		2	講義	1	
			古文書解読		2	講義	1	
			日本美術史		2	講義	1	
		西洋美術史		2	講義	1		
		東洋美術史		2	講義	1		
		吉備地方文化特論 1～4		各 2	講義	1		
		地理学 (地誌を含む。)	地理学概論	▲▼	2	講義	2	1以上
			地誌	▲▼	2	講義	2	
		「法学, 政治学」	法学	▼○	2	講義	1	1以上
		「社会学, 経済学」	社会学の世界と歴史	▼○	2	講義	1	1以上
		「哲学, 倫理学, 宗教 学」	哲学の世界と歴史	▼○	2	講義	1	1以上
			倫理と価値観の諸相		2	講義	1	
			日本人の思想		2	講義	1	
			ヨーロッパ人の思想		2	講義	1	
			アジア人の思想		2	講義	1	
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	教科教育法 (社会・地理歴史) I	▲▼	2	講義	2	中一種免 8 以上 高一種免 4 以上		
	教科教育法 (社会・地理歴史) II	▲▼	2	講義	3			
	教科教育法 (社会・地理歴史) III	▼	2	講義	3			
	教科教育法 (社会・地理歴史) IV	▼	2	講義	3			
合計							28	

総合歴史学科(2024 年度生以降)

教科及び教職に関する科目

表 2 (大学が独自に設定する科目)

免許法施行規則に定める科目区分等	本学開設科目名				備考
	授業科目名	単位数	授業形態	履修年次	
大学が独自に設定する科目	学校経営と学校図書館	2	講義	2	
	学校図書館メディアの構成	2	講義	2	
	学習指導と学校図書館	2	講義	2	
	読書と豊かな人間性	2	講義	2	
	情報メディアの活用	2	講義	2	
合計	10				

▲印科目は高一種免 (地理歴史) 必修、▼印科目は中一種免 (社会) 必修、○印科目は高一種免 (公民) 必修、

(注)中一種免を取得する場合は、表 1 及び表 2 から 32 単位以上 (表 1 から 28 単位以上) 修得すること。

総合歴史学科 (2024 年度以降入学生)

教科及び教職に関する科目

表 1(教科及び教科の指導法に関する科目)

免許 教科	免許法施行規則に定める科目区分等		本学開設科目名				文部科学省令に定める大学において修得 することを必要とする教科及び教科の指 導法に関する科目の最低単位数			
	科目区分	各科目に含める必要事項	授業科目名	単位数	授業 形態	履修 年次				
地理・歴史（高一種免）	教科 及び 教科の 指導法に 関する 科目	教科 に関する 専門的 事項	日本史	日本史入門 1	▲▼	2	講義	1	1以上	
				日本史入門 2	▲▼	2	講義	1		
				日本史講読 1～6		各 2	演習	1		
				日本史研究 1～6		各 2	演習	2		
				日本史講義 1～3		各 2	講義	3		
				古文書学の基礎		2	講義	1		
				古文書解読		2	講義	1		
				日本美術史		2	講義	1		
				吉備地方文化持論 1～4		各 2	講義	1		
			外国史	ヨーロッパ・アメリカ史入門 1	▲▼	2	講義	1		1以上
				ヨーロッパ・アメリカ史入門 2	▲▼	2	講義	1		
				アジア史入門 1	▲▼	2	講義	1		
				アジア史入門 2	▲▼	2	講義	1		
				ヨーロッパ・アメリカ史講読 1～4		各 2	演習	1		
				アジア史講読 1～4		各 2	演習	1		
				ヨーロッパ・アメリカ史研究 1～4		各 2	演習	2		
				アジア史研究 1～4		各 2	演習	2		
				ヨーロッパ・アメリカ史講義 1・2		各 2	講義	3		
		アジア史講義 1・2			各 2	講義	3			
		人文地理学・自然地理学	地理学概論	▲▼	2	講義	2	1以上		
			自然地理学	▲	2	講義	1			
			地誌	▲▼	2	講義	2			
		各教科の指導法（情報通信技術 の活用を含む。）	教科教育法（社会・地理歴史）Ⅰ	▲▼	2	講義	2	中一種免 8 以上 高一種免 4 以上		
			教科教育法（社会・地理歴史）Ⅱ	▲▼	2	講義	3			
			教科教育法（社会・地理歴史）Ⅲ	▼	2	講義	3			
			教科教育法（社会・地理歴史）Ⅳ	▼	2	講義	3			
		合計								24

総合歴史学科(2024 年度生以降)

教科及び教職に関する科目

表 2 (大学が独自に設定する科目)

免許法施行規則に定める科目区分等	本学開設科目名				備考
	授 業 科 目 名	単位数	授業形態	履修 年次	
大学が独自に設定する科目	学校経営と学校図書館	2	講義	2	
	学校図書館メディアの構成	2	講義	2	
	学習指導と学校図書館	2	講義	2	
	読書と豊かな人間性	2	講義	2	
	情報メディアの活用	2	講義	2	
合 計		10			

▲印科目は、高一種免（地理歴史）必修、▼印科目は中一種免（社会）必修

(注)高一種免（地理歴史）を取得する場合は、表 1 及び表 2 から 32 単位以上（表 1 から 28 単位以上）修得すること。

総合歴史学科 (2024 年度以降入学生)

教科及び教職に関する科目

表 1(教科及び教科の指導法に関する科目)

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分等	本学開設科目名					文部科学省令に定める大学において修得することを必要とする教科及び教科の指導法に関する科目の最低単位数			
	科目区分	各科目に含める必要事項	授業科目名	単位数	授業形態	履修年次				
公民 (高一種免)	教科及び教科の指導法に関する専門的事項	「法学 (国際法を含む。), 政治学 (国際政治を含む。)」	法学	○▼	2	講義	1	1以上	24	
			政治学概論		2	講義	1			
			国際政治 1	2科目中 1科目	○	2	講義			1
			国際政治 2			2	講義			1
			日本国憲法		○	2	講義			1
		「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	社会学の世界と歴史		○▼	2	講義	1		1以上
			社会学概論 A			2	講義	1		
			社会学概論 B			2	講義	1		
			基礎経済学	2科目中 1科目	○	2	講義	1		
			経済学概論			2	講義	1		
		国際経済論		○	2	講義	1			
		「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	哲学の世界と歴史		○▼	2	講義	1		1以上
			現代の哲学と思想			2	講義	1		
			倫理と価値観の諸相			2	講義	1		
			心理学 1			2	講義	1		
			心理学 2			2	講義	1		
			死生観の歴史			2	講義	1		
			日本人の思想			2	講義	1		
			ヨーロッパ人の思想			2	講義	1		
			アジア人の思想			2	講義	1		
			歴史人物の生と時代 1			2	講義	1		
		歴史人物の生と時代 2			2	講義	1			
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	教科教育法 (公民) I			2	講義	3		4以上
			教科教育法 (公民) II			2	講義	3		
合計								24		

総合歴史学科(2024 年度生以降)

教科及び教職に関する科目

表 2 (大学が独自に設定する科目)

免許法施行規則に定める科目区分等	本学開設科目名				備考
	授業科目名	単位数	授業形態	履修年次	
大学が独自に設定する科目	学校経営と学校図書館	2	講義	2	
	学校図書館メディアの構成	2	講義	2	
	学習指導と学校図書館	2	講義	2	
	読書と豊かな人間性	2	講義	2	
	情報メディアの活用	2	講義	2	
合計		10			

※ ○印科目は高一種免 (公民) 必修科目、▼印科目は中一種免 (社会) 必修

※ 高一種免 (公民) を取得する場合は、表 1 及び表 2 から 36 単位以上 (表 1 から 24 単位以上を含む) 修得すること。

3. 3年次以降の教職課程履修のための基準

3年次以降の教職課程履修に当たっては、次の条件を充足しているものとする。

- (1) 将来教育職員となる意志の強いこと。
- (2) 2年次終了時の累積GPA（Grade Point Average）値が、2.00以上であること。

4. 「教育実習」受講のための基準

「教育実習」を履修する学生は、以下の条件を充足しているものとする。

- (1) 将来教育職員となる意志の強いこと。
- (2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科の指導法に関する科目」については、3年次終了までに、つまり「教育実習」の行われる前年度までに履修すべき科目の単位を、すべて修得していること。
- (3) 3年次後期から4年次前期にかけて行う「実習校における実習のための事前指導」にすべて出席していること。
- (4) 3年次終了時の累積GPA値が、2.00以上であること。できれば2.50以上の値であることが望ましい。

5. 教育実習手続き

教育実習申込、および4年次の教育実習に至るまでの計画等についての教育実習説明会を4月のオリエンテーション期間中に行う。教育職員免許状の取得を希望し、教職に関する科目の履修をしている者は必ず出席のこと。

以下は、教育実習を行うための手順を簡単に示したものである。不明な点等があれば必ず保育・教職支援課に相談のこと。

(1) 実習校への依頼（3年次生）

教育実習は原則として、出身中学校・高等学校にお願いをする。交渉は各自で行うので、慎重を期し、中学校・高等学校に迷惑をかけないように次の順序で行うこと。

- ① 3年次の5月上旬に出身中学校・高等学校に、個人あるいはグループ単位で承諾を得るため、中学校・高等学校の校長先生に都合を伺った上で訪問すること。なお、この訪問前の4月上旬に中学校・高等学校訪問に関する説明会を行い、書類を配付するので必ず出席すること。
- ② 中学校・高等学校の承諾を得た場合、速やかに保育・教職支援課に承諾を得た内容について報告すること。また、実習を断られた場合でもその旨を同様に報告すること。

その後、保育・教職支援課では、承諾をもとに所轄教育委員会に依頼状を送り、承諾書を受け取る。

(2) 実習生の心得（4年次生）

- ① 保育・教職支援課は、実習前に中学校・高等学校あて「実習生環境調査書」を送付する。その際実習生は、所定の用紙に必要事項を記入し、保育・教職支援課に提出すること。
- ② 実習の始まる約1か月前には、再度実習校に連絡をとり、実習までに準備しなければならないこと、あるいは事前打ち合わせ日等について指導を受けておくこと。
- ③ 本学では指導教員が、実習生の訪問指導に当る。実習生は自分の訪問指導にあたる教員を確認し、実習開始までに実習訪問日等について打ち合わせをしておくこと。なお訪問指導教員については、実習約1か月前に伝達する。
- ④ 実習期間中は、生徒にとってつねに教師であることを自覚すること。言葉遣い、態度はもちろんのこと、服装、髪型、化粧などについても教師としてふさわしいように心がけること。
- ⑤ 実習中、実習に支障をきたすような事故、あるいは病気などで実習を欠席するときは、実習中学校・高等学校および保育・教職支援課に、電話などで必ず連絡すること。
- ⑥ 就職活動を理由とする欠席や実習の振替は認めない。

⑦ 実習が終了した後は、速やかに保育・教職支援課に、実習が終了したことを報告すること。（所定用紙）

(3) 教育実習費（4年次生）

教育実習を実施するために必要な教材資料費及び諸費用として、教育実習費を4年次の5月中旬に、証明書自動発行機（R館1階）で納入手続きを行うこと。（詳細は4月に掲示）

※ 万一病気等止むを得ない理由によって実習が不可能となった場合には、速やかに保育・教職支援課に届け出て、その指示に従い、自分勝手な行動はとらないこと。

ただし、「教育実習」受講のための基準を満たさない者は、辞退させる。

6. 教育職員免許状の申請について（4年次生）

(1) 一括申請

一括申請とは、大学が免許状取得有資格者をとりまとめて岡山県教育委員会へ免許状授与の申請をすることである。一括申請の手続方法・受付期間・手数料等詳細については、11月上旬（予定）に説明会を行うので必ず出席すること。

(2) 個人申請

一括申請手続きをしなかった者は、個人申請となる。なお、この場合の免許状の取得は、4月以降となる。

個人申請は、卒業後に都道府県の教育委員会へ申請し、取得後免許状番号を必ず教務課に連絡すること。

7. 介護等体験の実施について（3年次生又は4年次生）

○教育免許法の特例としての介護等の体験の義務づけについて

小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（平成9年法律第90号）及びその省令が、1998年4月1日より施行され、小学校及び中学校の普通免許状の授与を受けようとする者に介護等の体験（障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験）が義務づけられた。

1. 介護等の体験の期間

18歳に達した後、7日間を下らない範囲内

2. 介護等の体験の実施施設

特別支援学校又は社会福祉施設その他の施設で文部科学大臣が厚生労働大臣と協議して定める施設

3. 教員免許状の授与申請に当たっては、介護等の体験に関する証明書の提出が必要

介護等体験を行う者は、3月下旬に開催される説明会に必ず出席し、指定された提出書類を期日までに提出すること。

(1) 介護等体験実施期間・実施場所

特別支援学校においては連続した2日間、社会福祉施設においては連続した5日間実施する。

実施施設について、原則は岡山県内で行うものとする。

(2) 介護等体験費

当該年度に介護等体験を実施するものは5月中旬に証明書自動発行機（R館1階）で介護等体験費の納入手続きを行うこと。なお、一旦納入した体験費は、一切返還しない。（詳細は4月に掲示）

(3) 介護等体験実施申し込み手続き

岡山県の特別支援学校および社会福祉施設の介護等体験実施の申し込み手続きは、年度当初に大学を通して行う。

(4) 健康診断書の提出

介護等体験実施生は、体験実施先に健康診断書を提出しなければならない。従って、介護等体験実施年度当初に行われる学内健康診断の全ての項目および麻疹の抗体検査を必ず受診し、所定の期日までに健康

診断書を保育・教職支援課に申し込むこと。

(5) 介護等体験実施の取りやめ

やむを得ない事由のほかは、介護等体験実施を中止したり変更したりすることはできない。また、そのような事由が生じた場合は、至急保育・教職支援課に連絡すること。

(6) 介護等体験実施期間中の欠席

① 介護等体験実施中は、大学の授業を欠席することになるので、通常授業と同様に担当教員ならびに教務課へ、前もって公欠届を提出すること。

② 介護等体験の欠席は、原則として認められない。やむを得ない事由（本人の病気、忌引等）による場合は、速やかに介護体験実施先ならびに保育・教職支援課に届け出て、その指示に従うこと。

(7) 介護等体験実施期間中の身だしなみ

介護等体験実施にふさわしい身だしなみを心がけること。また、体験実施先の指示に従うこと。

(8) 介護等体験証明書の発行

証明書の発行に際して手数料が必要な場合は本人負担となる。受け取った証明書は介護等体験実施終了後1週間以内に保育・教職支援課まで提出すること。なお、証明書は再発行されない。

(9) 「介護等の体験」を要しない者

① 保健師、助産師、看護師、准看護師、特別支援学校教員、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士又は義肢装具士の免許・資格を既に有している者については、「介護等の体験」を要しない。

② 身体障害者手帳に、障害の程度が1級から6級であると記載されている者については、「介護等の体験」を要しない。

(10) 介護等体験の事前指導

5月に事前指導を実施するので、必ず参加すること。

8. 教職課程予定表 (表現文化学科・実践英語学科・総合歴史学科)

人文科学部3年次生

期	H	摘	要
3月下旬		介護等体験説明会	※本籍地(都道府県)を確認しておくこと
4月上旬		教育実習依頼について説明会	
4月上旬		実習希望校に電話で依頼交渉(学生)	
5月		実習希望校に訪問(学生)※依頼書類持参	
5月中～下旬		介護等体験事前指導(全2回)	
次年 2月中～下旬の3日間 (内、土曜日を2日含む)		教育実習事前指導(予定) 詳細は別途掲示 ※この時期、集中講義や春の海外研修などが実施されるが、教職履修者は必ず事前指導を受けなければならないので日程に十分注意すること。	

詳細な日程は別途掲示

人文科学部4年次生

期	日	摘	要
4月上旬		実習関係書類提出(環境調査書等)	
4月下旬		教育実習最終の事前指導	
5月中旬		教育実習諸経費納入	
実習開始1ヶ月前まで		実習校との事前打ち合わせ(学生)	
実習開始10日前までに		訪問教員との打ち合わせ(学生) 実習期間の公欠届提出(事前に各授業担当者に渡すこと)	
5月下旬～		教育実習(3週間又は2週間)	
教育実習終了後2週間以内		教育実習録・出勤表・教育実習自己評価表を提出(保育・教職支援課)	
7月中旬		教育実習事後指導	
11月上旬		教育職員免許状申請についての説明会	

詳細な日程は別途掲示